

会長のページ マイナンバーカード保険証	河野 雅行	3
日州医談 「日本プライマリ・ケア連合学会」について	玉置 昇	4
随 筆 アボカドの芽	渡邊 望	6
～車道楽は永遠に～	仲道 展久	8
和 歌 紫の花 駅の歌	石橋 俊秀	10
エコー・リレー (578)	丸山洋一郎, 獅子目 亨	12
メディアの目 青島海岸で「逃げトレ」	神屋由紀子	16
身近なお困りごと相談室	高山 桂	17
宮崎大学医学部だより 臨床神経科学講座－精神医学分野－ ..	船橋 英樹	22
部会だより 園医部会	高山 修二	23
旅行記 81歳四苦八苦の四国遍路 その3	高崎 眞弓	24
ニューメンバー	牧野 裕子	36
診療メモ 側弯症診療（運動器検診で何を診る？）	永井 琢哉	64
自験例からみた「自殺」についての小考察	中山 健	66
宮大医学部学生のページ 実習前のCBT・OSCE試験について ..	一色 泉	68

あなたできますか？（令和4年度医師国家試験問題より）	11
表彰・祝賀	14
宮崎県感染症発生動向	18
各郡市医師会だより	20
第24回宮崎県医師会医家芸術展	26
九州医師会連合会第409回常任委員会	27
九州医師会連合会第410回常任委員会	28
第125回九州医師会連合会定例委員総会	30
日医インターネットニュースから	32
医師国保組合だより	34
ベストセラー	36
会員の異動・変更報告	37
理 事 会 日 誌	38
県 医 の 動 き	43
ドクターバンク情報	44
行 事 予 定	51
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	53
あ と が き	76

お知らせ 医療勤務環境改善支援センター	13
地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	26
女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	29
医療事故調査制度相談窓口	31
「新春随想」原稿募集	48
日州医事へのご意見・ご感想	49
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	63
郡市医師会への送付文書	70
令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	73
医師年金ご加入のすすめ	74
日州医事原稿募集のお知らせ	75

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：アクリル画〕

追 想

宮崎市の野ざきふじこ
宮崎市の野ざきふじこ

会長のページ

マイナンバーカード保険証

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

マイナンバーカードについては多くの意見があります。さまざまな手続きなどが1枚のカードで処理できる便利なシステムは、現代の生活・社会に大きな効果が期待され、すでに医療界を含め広い分野で取り入れられています。しかし、ニュースではマイナンバーカードと健康保険証などを紐づけすることにより、他人の情報が記入されていたなどのトラブルが多く発生して騒がれています（5月13日ニュース7,300件）。当局は主として入力ミスによるものとの説明をしていますが、一部ではカードを返却する動きもあるようです。

7月20日付の宮崎日日新聞で、トラブル発生の過多によりデジタル庁への立ち入り検査が報じられました。トラブルは政策の実施を急いだことによるものと思われる。これは政権の大きな失策になる可能性があります。それでも政府は証明書発行などの救済処置を準備したうえで来年度には紙の健康保険証を廃止するとしています。これだけが原因ではありませんが、内閣の支持率が下がっています。今回はトラブルについて徹底的に調査して原因を明確にして改善を図っていただきたいものです。

マイナンバーカード保険証の利便性は十分認識されており導入の方針は同意できます。実施に当たり丁寧な説明をしたとの当局答弁ですが、果たして国民は十分理解できていたのでしょうか。私たち医師は法律で患者さんに対して丁寧に説明することを義務付けられています。しかし丁寧に説明したつもりでも患者さんに十分納得させるのは至難の業で、もし医療裁判にでもなれば説明不十分と簡単に断定されます。医師に丁寧な説明を要求するのであれば、法律を作る立場の政治家や実施する行政もその範を垂れて欲しいものです。政策は、場合によっては、まず目標や実施時期を決定した後に算段する手法も必要かもしれません。しかし、昨今の行政はこのパターンがあまりにも多すぎる印象があります。最初に改定率が決まる診療報酬改定のプロセスはまさにこの典型です。

マイナンバーカード保険証のせっきくの利便性も国民の信用がなければ宝の持ち腐れになってしまいます。国民に対し、丁寧に説明し、十分理解をしたうえで、慎重に運用していただきたいものです。

(令和5年9月19日)

日州医談



「日本プライマリ・ケア連合学会」について

宮崎県医師会 理事 たま き 玉 置 のぼる 昇

プライマリ・ケアの概念

「プライマリ」は「プリマ（主役）」に由来する語で、初期、近接、基本といった意味に加え「重要な」という語義も含まれるそうです。このプライマリ・ケアの定義や意味合いはとても広く、用いられる場面や状況でニュアンスが違います。その一つに1996年、米国国立科学アカデミー（National Academy of Sciences, NAS）が定義したものが 있습니다。「primary careとは、患者の抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的なパートナーシップを築き、家族および地域という枠組みの中で責任を持って診療する臨床医によって提供される、総合性と受診のしやすさを特徴とするヘルスケアサービスである」というものです。この定義は広く用いられ、プライマリ・ケアを提供する医師にとって、ひとつの指標になっています。また、世界保健機構（WHO）はプライマリ・ケアを「プライマリ・ケアは、ケアやゲートキーパー以上の役目であり、最初の第一線としてアクセスされ、継続的・統合的に調査されたケアを提供する保健制度の中心的な役割である。必要とされた際の第一線コンサルタントであり、短期の疾病に限らず個人の長期的な保健状態を診る」と定義しています。一方、日本医師会では、『日本医師会生涯教育カリキュラム＜2009＞』における一般目標として、「頻度の高い疾病と傷害、それらの予防、保健と福祉など、健康にかかわる

幅広い問題について、わが国の医療体制の中で、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的視点から提供できる医師としての態度、知識、技術を身につける」ことを掲げています。それぞれの言わんとするところを総合しますと、プライマリ・ケアを支える医療人に課せられた役割とは、継続的な学習を通して臨床能力を保持し、専門医に紹介すべき病態・疾患を適切に判断したうえで、必要に応じた継続管理を行うこと、と言えます。

プライマリ・ケアにおけるACCCA

米国医学研究所（米国医学アカデミー：National Academy of Medicine）によるプライマリ・ケアの供給体制についての提言でACCCAというものが 있습니다。ACCCAとはAccessibility（近接性）、Comprehensive（包括性）、Coordination（協調性）、Continuity（継続性）、Accountability（責任性）のことです。

日本プライマリ・ケア連合学会発足の経過

近年、日本プライマリ・ケア学会が認定する「プライマリ・ケア専門医」、日本家庭医療学会が認定する「家庭医療専門医」などの資格が発足しましたが、ジェネラリストとしての専門性が統一されていませんでした。そこで、プライマリ・ケア関連の3学会（日本総合診療医学会、日本プライマリ・ケア学会、日本家庭医療

学会)が合同でジェネラリストの専門資格について検討していましたが、2010年4月1日に上記3学会が合併し、主に一般医・家庭医を中心とした一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会と、同時に病院総合医を中心とする日本病院総合診療医学会が発足しました。

日本プライマリ・ケア学会(現日本プライマリ・ケア連合学会)は、1978年に発足しました。その母体は、「実地医家のための会」でした。「従来の医学が大学中心の医学であって必ずしも第一線の医療に役立っていないこと、社会に役立つ有用性のある学問が必要なこと、そして第一線の医療に携わっている医師たちが自分たちのデータを持ち寄って発表し合う学会が必要であること」をその理念として掲げました。

一般的に「総合診療医(Generalist)」を説明する場合、「全人的医療を行うことができ、初診外来で的確に患者を専門診療科に紹介できる医師」と定義づけられます。この考えがアメリカから輸入され、わが国では家庭医(Family Medicine)の考えに近い日本プライマリ・ケア学会、日本家庭医療学会、更に1998年に日本総合診療医学会が設立されました。一方、全国に総合診療科(部)が次々と創設され、各科専門医のいる総合病院の中で、プライマリ・ケアに加えて医療機器を使って診断を行う「病院総合診療医(Hospitalist)」の必要性が注目されるようになりました。日本病院総合診療医学会は総合診療医の臨床を深める場になるとともに、総合診療医が総合診療に関する領域の研究推進を通して国民の健康増進に貢献することを目的としています。

他の学会と異なり、日本プライマリ・ケア連合学会は開業医が多く参画し、歯科医師、薬剤師、看護職、介護職なども正式の会員となって

います。8つのブロック(北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、中部ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック)に分けられ、更に九州ブロックは8つの各県支部で構成されています。

日本プライマリ・ケア連合学会宮崎県支部について

宮崎県では平成11年10月に宮崎県におけるプライマリ・ケアを考える会が開催され、同年12月に宮崎県プライマリ・ケア研究会が設立されました。薬剤師会、歯科医師会、看護協会、栄養士会、理学療法士会、臨床衛生検査技師会などから幅広い分野の先生方が設立に参画されました。当時の研究会は、隔月で宮崎県プライマリ・ケアニュースを発刊され55号まで続きました。その後、宮崎県プライマリ・ケア研究会会誌として春と秋の2回発刊され現在20号(通算75号)が刊行されています。秦喜八郎先生は日本プライマリ・ケア連合学会九州支部長を長くお務めになり、令和5年2月12日の総会(熊本)で名誉会員証が授与されました。

日本プライマリ・ケア連合学会第18回九州支部総会・学術大会について

令和6年1月20、21日に日本プライマリ・ケア連合学会第18回九州支部総会・学術大会が宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授の吉村学先生を大会長に宮崎県医師会館においてWebとのハイブリッド開催の予定です。テーマは「with コロナ時代のまちづくりとひとづくり」であり、興味深い内容になると思われます。準備委員会を発足させ鋭意開催にむけ準備を進めています。宮崎での開催でありますので、多くの会員の先生方の参加をお待ちしています。

随 筆

アボカドの芽

宮崎市 宮崎大学医学部附属病院ハートセンター ^{わた}渡 ^{なべ}邊 ^{のぞみ}望

言葉から言葉つむがずテーブルに

アボカドの種芽吹くのを待つ

－俵 万智－

2月に放映されたプロフェッショナル仕事の流儀をたまたま見ている、俵万智さんが料理に使ったアボカドの種を水につけていたら、数か月で芽が出て立派な観葉植物に育っている、という場面がありました。

ほんとかなあ、と思いながら、家で食べたアボカドの種を小さな瓶に入れて台所に置いてみました。家族も面白がって、アボカドの種がコロんと入った瓶の水を変えたり眺めたり、しばらく忘れていたり。2か月ほど経ったある日、突然種が割れ、期待が膨らみます。それから根が生え、割れ目から小さな芽が！バナナスムージーのカップに格上げされたアボカド水耕栽培は台所の窓辺の主役となり、驚くばかりの成長に毎日くぎ付けの我が家です。細い茎がピンッと伸び、かわいい葉っぱが楚々と広がっていく。なんの心配もなく、一直線に天井に向かっていくアボカドの姿は、日々多くの課題を抱えて命からがら自転車操業の自分に、何か不思議な、スッとした力を与えてくれます。

宮崎大学に赴任し2年が経ちました。奇しくも同じ年度に循環器内科海北幸一教授・心臓血

管外科古川貢之教授が相次いで就任され、当時病院長であった現学長鮫島浩先生から、「3人で力を合わせてハートセンターの新しい体制を作り、どんどん活躍してください！」と激励のお言葉をいただきました。私は主に専門分野の心エコー検査室の運営を担当し、検査技師さんや循環器内科・小児循環器科の先生方と一緒に勉強・診療をしています。また、心臓外科の周術期診断に関わらせていただくことで、日々新たな学びの機会をもらっています。去年は、シーガイアで第12回心臓弁膜症学会を大会長として開催し、宮崎に日本のトップ外科医、弁膜症専門の診断医がずらりと揃う、夢のような場面となりました。

新体制のハートセンターではカテーテル検査室が増室、循環器内科・心臓外科ともにアクテ



ハートセンター古川教授（前列右から1番目）・海北教授（後列右から1番目）・心エコーチームと（筆者は後列右から2番目）

ィビティが増し、さまざまな負担もある中、必死の努力をされています。病院幹部・検査部の理解を得、心エコー技師をハートセンター所属としたことも、大学病院としては思い切った改革でした。県内の医療者や市民の皆さんが最後の砦として信頼し、医学生や研修医教育の場としても誇りに思ってもらえるような医学部を目指していきたくと思っています。

医学部には臨床・基礎講座に6人の心血管病専門の教授が在籍し、循環器ユニットとして学内外の活動をともにしています。今年度は、私がリーダーを務める健康寿命延伸に関する大型プロジェクト「みやざき健康キャラバン隊」の活動で「宮崎のかくれ心房細動ゼロ！！作戦」を展開しています。健診受診率が特に低い宮崎市で、心電図検診の推奨、モニター心電図での不整脈スクリーニングの試みなど、自治体や医療機関と協力して「高齢者に潜む無症状の心房

細動発見→抗凝固療法による脳卒中予防→要介護・寝たきりの減少→医療費・介護費削減→健康寿命延伸」というロジックモデルを実現させるべく、あちこちに出没する予定です。

アボカドのひたすらまっすぐに伸びていく姿を眺めつつ、私は私に与えられた場所で根を出し芽を伸ばし、私にできる力を出していきたいとスッと背筋を伸ばしてみるこのごろです。

私は、俳人であった祖母と皮膚科医の父（田崎高伸）の影響で、俳句を趣味としています。日々に忙殺され、俳句を作る気持ちの隙間がありませんでしたが、アボカドを眺めて詠んだ一句でこのつらつらと書いた原稿を終わりたいと思います。

アボカドの芽 今朝も真直ぐに 梅雨窓辺

— 望 —



宮崎大学宮崎健康街づくり構想：
みやざき健康キャラバン隊のポスター



随 筆

～車道楽は永遠に～

三股町 とまり内科外科胃腸科医院 なか みち のぶ ひさ
仲 道 展 久

「GT roman」。予備校時代の悪友が、「面白か漫画のあるけん、読まんや」と言って持ってきたのが、この漫画との出会いだった。作家は西風。異国情緒溢れるタッチで描かれたこの漫画は、ハコスカGTRをこよなく愛するマスターが経営するカフェ「roman」に集まる車好きな連中の日常を面白おかしく描いたヒューマンドラマ。当時、硬派？にも軟派？にも車で派手に遊んでいた私は、自身に相通ずるような愉快なエピソードの数々に共感し、読み始めた途端に一瞬でファンになった。現在では、すべての西風作品を所有している有様だ。

私の車道楽は、当時、全日本ラリーで活躍していた後輪駆動のいすゞジェミニで始まった。腕を磨くため、暇さえあれば地元や近隣の峠（高良山、三瀬峠、江川ダムetc…）を走り回っていた。スポーツ走行の醍醐味を私に手ほどきしてくれたよい車だったが、メンテナンスの知識もなしに4年間で10万kmと酷使した結果、車はボロボロになったので免許取り立ての後輩に譲った。次の車はテールレンズを4枚ケンメリの丸型4連レンズにスワップしたキャンディブルーの外装色のS30Z。漫画「湾岸ミッドナイト」でおなじみの車両だ。エンジンをヘッドチューンのL28改に換装し、44φソレックスキャブ、等長タコ足、デュアルマフラーにサスカットと硬派に改造していた。平日の夜は地元の走り屋が集まる近場の峠へ、週末は深夜の非公認ゼロヨン大会へ参加するため、地元の悪友たちと北九州の苅田港まで遠征していた。グル

ープ同士の喧嘩やいざこざも今では懐かしい思い出だ。学生時代は貰い物のベンツ（250CE）や軽トラックなどを含め計7台を乗り継いだ。仕事を始めてからも相変わらずで、RX7（FD3S）を改造しサーキットデビューを目論んでいたが、実父の陰謀により私の知らないところで、実家のクリニックから目と鼻の先にある公立八女総合病院への出向が突然決まった。それから6年間、私の車道楽は幸か不幸か凍結されてしまうことになる。

当時の公立八女総合病院（現在、消化器内科は廃科）は久留米大学第二内科関連で最もアクティブな出張病院で症例数も断トツに多かった。総ベッド数330床のうち、80床弱が消化器内科病棟で常に満床。「大学病院に甘えず自給自足」をポリシーに、消化器疾患、血液疾患、膠原病など第二内科領域の疾患を副院長以下7人の仲間で診療していた。消化管疾患の精査加療や緊急内視鏡はもとより、筑後地区はC型肝炎のメッカで症例の7割は肝疾患。IFN開始前の肝生検、EVLやEISなどのvarix治療、HCCに対しての腫瘍生検、PEIT、TACEや動注用リザーバー留置など、更には胆道系疾患の精査加療や減黄処置（PTCD、PTGBD）、骨髄穿刺など多種多様だった。ありとあらゆる手技が個々に要求されたが、第二内科屈指の臨床能力で私の内視鏡の師でもある角野消化器内科部長の指導の下に、全員が十分なスキルを習得できていたからか、私の知る限り医療事故の発生はなかった。着任当初、私はX線被爆量の多いアンギオ

造影や治療が好きではなかったが、嫌でも症例が追いかけて来る。いつの間にかDSA、TAI & TACEは私だけでも年間延べ50～60例は行っていた。消化器系外科手術症例でも、まずは当科に入院して術前精査、日中の全診療科の救急搬入時初期対応、教育認定施設基準を満たすための昼夜問わずの剖検などは、同門の先輩である病院長が我々に課した特命だった。完全主治医制だったため、午前の外来診療を終えると銘々が昼飯もそこそこに受け持ち患者の精査や治療を始める。ただし、放任ではなかった。1週間に20人ほど入院してくる当科の新規入院患者全員と要検討症例に対し、毎週水曜日の夕方に2時間ほどかけて、院長以下全員で主治医がプレゼンする精査治療のプランをネタにカンファレンス。毎週金曜日に医員全員で行う1週間分の消化管検査画像の読影会。この“消化器病スパルタ塾”のような環境は、この病院のOBで“早期胃癌研究会”や“馬場塾”の塾長として有名だった“胃透視の大家”，故 馬場保昌先生の系譜を継いでいたからだろうと今に思う。ここでの濃密な6年間は学生時代から勉強嫌いで怠惰だった私に真の学びを教えてくれた。近い将来、家内とともに実家のクリニックへ戻る予定だったが、些細なことで親子喧嘩が勃発。その後も両親との確執は深まる一方だった。心の葛藤に苦しんだ末、実家の後継を断念した。そして、夫婦共働きのため保育園に通わせていた息子のために家内の実家がある都城への移住を決断した。

2003年夏、都城に転入当初、夜が寂しい南九州に驚いたが、車は少なく近隣の峠や高速道路が時間帯によって貸し切り状態となる道路環境に大変満足した。玩具はFD3SからC3コルベットスティングレイを経てS2000へと替っていた。当時、私は都城市郡医師会病院をはじめ3か所の医療施設で上下消化管内視鏡検査のみの勤務形態だったので、余暇を利用してサーキット（オートポリス、HSR）走行も始めた。2012年夏、長年悩まされていたS2000のリタード様

エンジン不調の原因が社外製エアクリーナーの吸入障害と判明。改良後、オートポリスのラップタイムは一気に6秒短縮し、その年秋のS2000ワンメークレースで初の総合優勝を果たすことができた。レースも医療も機器が整備不良だとよい結果は残せない（誤診や事故につながる）。そして、両者とも経験年数ではなく経験数が物を言う。たくさん練習（症例経験）して己の不備を洗い出し、正しい知識と技術を習得することが成長の鍵で、そこにゴールはなし。

今秋で64歳。昨年でサーキットライセンスの年次更新を止めた。現在、ない物ねだりが高じて、手元にはFR、MR、FF、4WDとすべての駆動方式が揃っている。最近は休日の早朝に1～2時間ほど、近隣の峠やハイウェイをゆっくり流したり、たまにはワープ？したりして気分転換を図っている。どこかに「roman」のようなカフェがあれば最高だが。～峠の親父



写真は S2000 ワンメークレース（2012）のスタート直後
結果はポール to ウィンで総合優勝♪
当時、オートポリスの my best lap time は 2分9秒 flat



「GT roman」

和 歌

紫の花 駅の歌

延岡市 井上病院 ^{いし}石 ^{ばし}橋 ^{とし}俊 ^{ひで}秀

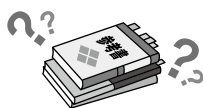
宮崎県に縁がある俵万智（青の国、うたの国）、若山牧水（日向の国 都井の岬の青潮に 入るゆく端に ひとり海みゆ）や昭和天皇の歌（都井岬の 丘のかたへに 蘇鉄見ゆ ここは自生の 北限にて）に触発されて和歌を詠み始めた。

御崎馬 アジサイ背に 草をはむ
 風に抗い 雨と戯れり
 馬ヶ背と 日向夏に さざれ石
 願いが叶う クルスの海
 日向よ 名産品を 知り足れば
 細島いわがき マンゴーバター
 とうごうの 記念館に 来てみれば
 若山牧水 詠の数々
 響灘 グリーンパーク バラづくし
 フワフワランド キッチンカーよ
 ピンクポスト かのやバラ園 白チャペル
 ローズトレイン ローズトンネル
 春が来て 高崎山の 母猿は
 お産に追われ エサをもらえず
 うみたまご ショーに挑む オットセイ
 イルカ達に 負けてはならじ
 高千穂や 神が降り立つ 道の駅
 チーズまんじゅう きんかんホロホロ
 紫の ジャカランダが 引き立てる
 なんごうロール マンゴーソフト
 梅雨が来て 桃源郷に アジサイの
 花咲き乱れ 嬉しからずや
 （写真1）



写真1：桃源郷岬の紫陽花

アジサイや 太陽に焼かれ 枯れかけて
 雨で復活 紫の花
 酒谷の アジサイロード 知れ渡り
 ふるさと林道 賑やかなり
 串間にて イモリンモンロー 食べ飽きて
 ぶりぶり井 海鮮ちゃんぽん
 生駒にて ポピーリングと ネモフィラ
 親子で遊び 餃子まつり



あなたできますか？

—令和4年度 医師国家試験問題より—

(解答は69ページ)

1. 自己免疫性胃炎〈A型胃炎〉に合併するのはどれか。
- a 悪性貧血
 - b 溶血性貧血
 - c 悪性リンパ腫
 - d 鉄欠乏性貧血
 - e 再生不良性貧血

2. ビタミン欠乏とその症状の組合せで正しいのはどれか。
- a 葉酸 ————— 小球性貧血
 - b ニコチン酸 ————— 心不全
 - c ビタミンA ————— 夜盲
 - d ビタミンB₁ ————— 腱反射亢進
 - e ビタミンB₁₂ ————— 皮膚炎

3. インシデントレポートで正しいのはどれか。
- a 保健所に報告する義務がある。
 - b 医療安全管理委員会が作成する。
 - c 薬剤に関する報告件数が最も多い。
 - d 報告件数が少ないほど医療安全の質が高い。
 - e 患者に実害がない場合は作成する必要はない。

4. 76歳の女性。高血圧と慢性心不全のため入院していた。退院後は自宅近くの診療所に通院し、かかりつけ医の指導により自宅で毎朝体温、脈拍、血圧および体重の測定を行い、下腿浮腫の有無を確認している。
- 体液の過剰状態を早期に判断するために最も信頼度が高い項目はどれか。
- a 体温
 - b 脈拍
 - c 血圧
 - d 体重
 - e 浮腫

5. チーム医療について正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 職種間での競争意識向上が主な目的である。
 - b 多職種相互の十分な業務理解により促進される。
 - c チーム医療リーダーの職種は医師に限定される。
 - d 患者情報は多職種で共有できる仕組みが重要である。
 - e 多職種カンファレンスに患者の家族は同席できない。

6. 55歳の男性。高血圧症の定期診察のため来院した。3年前に職場の健康診査で高血圧を指摘

された。その後、降圧薬で治療を受けている。家庭血圧は適切な範囲で管理されている。1日30分のウォーキングをしている。既往歴に特記すべきことはない。喫煙歴はない。飲酒は機会飲酒。身長168cm、体重58kg。体温36.2℃。脈拍72/分、整。血圧122/68mmHg。尿所見：蛋白(－)、糖(－)。血液生化学所見：AST28U/L、ALT18U/L、 γ -GT40U/L(基準値8～50)、クレアチニン0.6mg/dL、血糖68mg/dL、HbA1c5.4%(基準値4.6～6.2)、トリグリセリド70mg/dL、HDLコレステロール62mg/dL、LDLコレステロール102mg/dL。

この患者の日常生活指導として適切なのはどれか。

- a 「禁酒しましょう」
- b 「運動はもう必要ありません」
- c 「内服薬は時々休みましょう」
- d 「家庭血圧の測定を続けてください」
- e 「定期的な健康診査は受けなくてよいです」

7. 抗リン脂質抗体症候群で正しいのはどれか。
- a 血小板が増加する。
 - b 永続的な妊娠の禁止を要する。
 - c プロトロンビン時間が短縮する。
 - d 妊娠高血圧症候群の高リスクである。
 - e 副腎皮質ステロイドが第一選択薬である。

8. 腎障害を起こす頻度が高い薬剤はどれか。
- a スタチン
 - b 炭酸リチウム
 - c 塩酸メトホルミン
 - d カルシウム拮抗薬
 - e 副腎皮質ステロイド

9. 成人の動脈血ガス分析を目的とした大腿動脈からの採血について正しいのはどれか。
- a 穿刺針の太さは18Gを選択する。
 - b 動脈の走行は目視で確認する。
 - c 皮膚に対して直角に穿刺する。
 - d シリンジに十分な陰圧をかける。
 - e 抜針後に穿刺部位をよく揉む。

10. 高齢者で誤嚥を疑う所見として誤っているのはどれか。
- a 発熱
 - b 湿性咳嗽
 - c 味覚障害
 - d 喀痰の増加
 - e 飲水時のむせ

エコー・リレー

(578回)

(南から北へ北から南へ)

合気道を始めて

延岡市 丸山クリニック まる やま よういちろう
丸 山 洋一郎

「六十の手習い」という言葉があります。私は小中高そして大学と授業以外の運動をほとんどしたことがありませんでした（させてもらえなかったという方が正しいですが）。

40歳のとき、子どもが通っていた縁で、延岡至誠館で剣道を始めました。しかし、さすがに防具を着けての激しい運動に限界を感じ50歳で止めてしまいました。その後は何もしないままでしたが、59歳のときに知人に紹介され、延岡征武館で合気道を習い始めました。その後、征武館で指導を受けていた佐藤博先生が独立され、延岡志誠館を設立されたのを機に志誠館門下生となり、予定がない限り週3回夜7時から9時までの練習に通っています。

合気道の原理は居合いの剣であり、剣の理合を体術で表わし、円運動にて相手を制する武道です。また、相手に対して攻撃するのではなく、相手の力を利用して技を掛けるのが特徴です。更には相手の気を読むので、日常生活においても集中力や観察力を高めることができ、自己制御力も身につきます。つまり合気道は身体と精神力を高めることができるのです。このことは合気道が警視庁の逮捕術に応用されている理由の一つと考えます。

今年8年目にして、やっと袴を履くことのできる3段になれました。満身創痍になりながらですが、後3年70歳までは続けたいと考えています。皆様の中に合気道の世界を体験し、自分自身が成長するプロセスを経験してみたい方がいらっしゃるなら、ぜひお勧めしたいものです。

[次回は、延岡市の高橋 恒太先生をお願いします]

オムレツ

宮崎市 獅子目整形外科病院 し し め とおる
獅子目 亨

ホテルに泊まり朝食を食べるとよく目の前でオムレツを調理してくれることがあります。私はそのオムレツが好きでよく選びますが、新型コロナウイルスが流行し外出外泊が自粛さ

れ、ホテル宿泊ができなくなりました。もともと毎日食べるわけではなく、「絶対に食べたい!」というほどではないのですが、時に食べたくることがあり自分で作ってみようと思いまずは作り方をネットで探しました。

「オムレツ、ホテル、作り方」と調べてみるとYouTubeを中心に情報は山のようにあり、それを見ながら早速作ってみました。誰でも1日でホテルのオムレツが作れるようになる…という動画も見ましたが、現実には厳しくお店で出るようなきれいなふっくら焦げ目のないオムレツはなかなかできません。味に関しては特別美味しいというわけではありませんが、不味くなく無難な味です。しかし形をきれいに整えるのが難しく、失敗を繰り返しながら月に1・2回程度ですが、作っていくと徐々に形になってきて少し自信もつきました。

5月からは行動制限もなくホテルに泊まる機会もありオムレツを食べることが久しぶりにできました。目の前で作られるオムレツを見ながら待つこと1,2分。あっという間にきれいなオムレツが皿に盛り付けられ渡されました。そのオムレツを見て、まだまだ修行が足りないと思いながら美味しくいただきました。結論、プロにはかなわない。でも楽しみとしてオムレツは作り続けていこうと思います。

[次回は、宮崎市の坂田 勝美先生をお願いします]

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい...

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

表彰・祝賀

産科医療功労により厚生労働大臣表彰

やま お ひろ みち
山 尾 裕 道 先生（延 岡）

令和5年9月8日、産科医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



山尾 先生

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

おか むら ひろ みち
岡 村 博 道 先生（延 岡）

令和5年9月8日、救急医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



岡村先生

表彰・祝賀

救急医療事業功労により県知事表彰

なが くら ほ づみ
長 倉 穂 積 先生（都 城）
きし しげ お
岸 重 雄 先生（延 岡）

令和5年9月8日，救急医療事業功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



長倉 先生



岸 先生



メディアの目

青島海岸で「逃げトレ」

西日本新聞社 宮崎支局長
こ う や ゆ き こ
神 屋 由紀子

JR日南線の青島駅で下車し、駅舎でまず目に入るのは「津波避難経路マップ」だ。大地震が起これば、周辺地域は浸水深5メートルに達するという想定で赤色で塗られている。もし今、大地震が起きたら…と思わずにはいられない。

7月に京都大学防災研究所宮崎観測所（宮崎市）が開催した一般向けのセミナーを取材した。南海トラフ地震の概説があった後、それに備えるための津波避難訓練アプリ「逃げトレ」が紹介された。内閣府の有識者検討会が公表した津波高などの推計値を使って京大が開発。利用者が自分で避難ルートを決めて実際に移動し、要した時間からうまく逃げ切れたかどうか、成否を判定するスマホアプリだ。

早速、青島海水浴場で試してみた。アプリを起動し、地震発生から何分後に避難を始めるかという「準備時間」を設定して移動する。宮崎市の津波想定で到達は最短18分。準備時間を20分に設定した途端、スマホの画面が危険度の高さを示す赤色になり「5分以内に津波が来ます。逃げましょう」と警告が流れた。5分ほど歩いたところで津波に追い付かれ、判定は「避難失敗」。準備時間15分の設定だと5分後に危険度が上がり、まるで津波が追いかけてくるよう。急いで歩き、駅近くのバイパスへ上る階段でようやく画面が緑色に変わり「安全」と表示され、ホッとした。判定は「危機一髪で避難できた」。

一般の防災訓練は指示どおりに動くだけなので身が入らなかったが、この訓練だと疑似体験ながら危険度が可視化され、避難の目安を体得する大切さが身に染みた。アプリの紹介と体験記を新聞に書くと、中日新聞や英字紙ジャパントイムズにも転載された。アプリのユニークさとともに、不安にどう対処するのか、一つの道筋と受け取られたからだろう。

医療現場で現況を可視化して人々の不安に対応しようとする試みを取材した。新型コロナウイルス感染症の再拡大を早めに把握するため、延岡市医師会が5月に始めた新規感染者数の独自集計だ。新型コロナが感染症法上の5類に引き下げられ、国は集計方法を全数把握から定点把握に切り替えた。それでは不十分と考えた取組みで、この原稿を書いている時点でも集計結果をホームページに掲載している。

行政の発表は週1回のためタイムラグが生じる。医師会が公表する集計結果は地元の傾向がよく分かり、市民生活の目安にもなっているのではないか。全国に先駆けて「地域医療を守る条例」を制定した地らしいと思った。

ウクライナ戦争、感染症パンデミック、地球温暖化。世界情勢から身近な生活まで言いようのない不安が漂う。現況を可視化して具体的な道筋を示す。医療、報道、そして政治、いずれの分野にも人々が希求していることだろう。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第25回 治療行為に関する患者以外の同意について

**Q.**

ある日、外来で診察に来られた高齢の患者に重い疾患が予想されたことから、手術含めた治療の説明を行ったところ、本人に認知症状が見られ、こちらの説明を理解しているように思えませんでした。また、その患者の家族は遠方地に住んでいるため、診察に同席してもらうことも難しいです。このような場合に、医師として誰に対してどこまでの説明を行う義務があるのでしょうか？

医療機関は、医療行為の同意を誰からどこまで得なければならないのかという問題は、実は法的に画一的基準が存在していないため、非常に難しい問題です。

まず、医療行為の同意を行うのは、医療者からの十分な説明を前提とした患者本人が行うことが原則です。以前では、ガンの告知などは患者家族にのみ説明を行う方法もありましたが、現在では患者本人の自己決定権を尊重するために、特別な理由がない限り、本人への告知と説明を行うようにすべきでしょう。

そして、本来であれば、自らの身体に関する治療、特に手術などの同意権は高度に一身専属的権利であるため、家族であっても同意する権限はないとの考えもあり得ます。

しかし、患者本人がその治療内容を理解することができない場合や、同意を与える身体的状況ではない場合、その親族への説明によって、医師としての説明義務を果たしたと判断している裁判例が多数存在します。

その一方、帝王切開による分娩の際、患者の夫の同意を得て子宮筋腫などのために子宮の全摘出を行った事例では、裁判所は医師に対し説明義務違反と判断しました。これは、患者に与える手術の影響の大きさおよび本人から同意を得る機会があったことから、親族による代諾を許さなかったものといえます。

ご質問のケースでは、まずは患者本人へ十分な説明を行うことは前提としたうえで、明らかに理解できていない様子であれば、患者のキーパーソンとなる親族への電話連絡などを行うことが好ましいでしょう。そして、「患者本人へ説明したことおよびその親族へ連絡を取り説明したこと」を明確にカルテなどの記録に残しておくことが重要です。もし、親族が電話に出ないとしても、そのような連絡を行った旨を必ずカルテに記載してください。

もっとも、親族が全くいない場合や児童の親権者が医療ネグレクトにより同意をしない場合などの対処をどうすべきかなどの問題点は未解決であり、ケースバイケースで医師として果たすべき行為がどこまでかを慎重に判断していくことが必要です。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～8月～

令和5年7月31日～令和5年9月3日（第31週～第35週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核8例（男性4例・女性4例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症

2例：延岡，日向保健所管内から報告があった。年齢は10歳代と40歳代で，主な症状として腹痛，水様性下痢，嘔吐，発熱がみられた。原因菌はO157（VT1VT2）であった。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）2例：宮崎市，日南保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と80歳代で，1例にダニの刺し口があった。主な症状として発熱，腹痛，下痢，嘔吐，食欲不振，血小板減少，白血球減少，リンパ節腫脹がみられた。

○日本紅斑熱2例：宮崎市，日南保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と80歳代で，1例にダニの刺し口があった。主な症状として発熱，発疹，肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症2例：宮崎市，小林保健所管内から報告があった。年齢は40歳代と80歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，呼吸困難，意識障害，肺炎がみられた。

5類：○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。

30歳代の男性で，病型はB型であった。主な症状として全身倦怠感，褐色尿，食欲不振がみられた。

○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，病型は家族性CJDで，診断の確実度は，ほぼ確実であった。主な症状として進行性認知症，記憶障害，精神・知能障害，臨床的に頑固な不眠がみられた。

○梅毒19例（男性10例・女性9例）：宮崎市（12例），都城（5例），高鍋（2例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は【表3】，病型別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，眼症状等がみられた。

○播種性クリプトコックス症11例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として発熱，真菌血症がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害，痙攣がみられた。

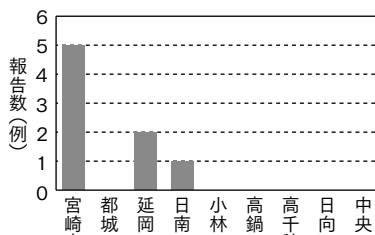


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	3
その他の結核 (結核性胸膜炎，骨結核)	2
無症状病原体保有者	3

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	1
60歳代	2
80歳代	4
90歳代	1

表3 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	3
20歳代	5
30歳代	4
40歳代	3
50歳代	4

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	6
早期顕症梅毒Ⅱ期	9
無症状病原体保有者	4

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
細菌	EPEC (OUT:H21)	1
	EPEC (OUT:H40)	1
	EPEC (OUT:H7)	1
	EPEC (OUT:HUT)	1
	Salmonella enterica subsp.enterica (Ⅰ) (血清型不明)	1
	Salmonella Oranienburg (O7:m,t:-)	1
	Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	4
	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	4
	Salmonella Infantis (O7:r:1,5)	1
	Salmonella Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	1
ウイルス	RS virus	1
	Influenza virus AH3	4
	Parainfluenza virus 4	1
	Coxsackievirus A9	1
	Cytomegalovirus	1
	SARS-CoV-2	1

■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は9,174人（定点あたり186.3）で、前月の96％、例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の191％であった。

前月に比べ増加した主な疾患は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症及びヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は5,618人（96.9）で前月の約1.1倍であった。延岡（177.7）、日向（104.0）、都城（100.3）保健所からの報告が多く、15歳未満が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は579人（16.1）で前月の約1.5倍、例年の約2.8倍であった。延岡（43.3）、中央（32.0）、日向（27.0）保健所からの報告が多く、1歳から4歳が全体の約8割を占めた。

■ 月報告対象疾患の発生動向〈2023年8月〉

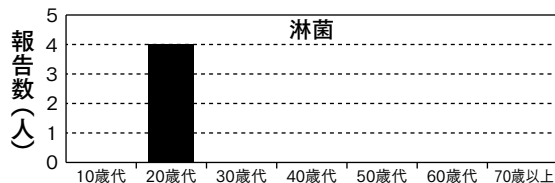
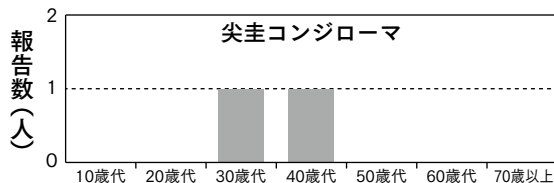
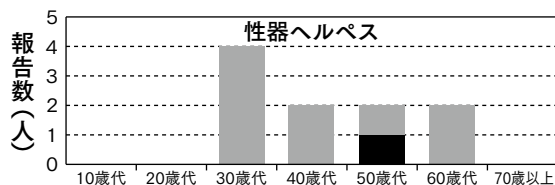
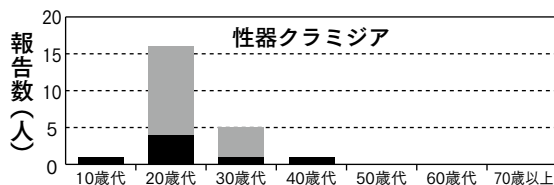
□ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は39人（3.0）で、前月比115％と増加した。また、昨年8月（2.2）の約1.4倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人（1.8）で、前月と同程度、昨年8月の約1.2倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性7人・女性16人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人（0.77）で、前月の約3.3倍、昨年8月の2.5倍であった。（男性1人・女性9人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月の2.0倍であった。（昨年8月報告なし、女性2人）
- 淋菌感染症：報告数4人（0.31）で、前月の約0.7倍、昨年8月の0.8倍であった。（男性4人）



■ 男 ■ 女

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人（3.7）で、前月比118％と増加した。また、昨年8月（3.9）と同程度であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数26人（3.7）で、前月の約1.2倍、昨年8月と同程度であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2023年8月		2023年7月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	1,306	22.5	2,140	36.9	★
新型コロナウイルス※1	5,618	96.9	5,131	88.5	★
RSウイルス感染症	275	7.6	506	14.1	
咽頭結膜熱	41	1.1	46	1.3	
溶レン菌咽頭炎※2	195	5.4	143	4.0	
感染性胃腸炎	811	22.5	681	18.9	★
水痘	19	0.5	17	0.5	
手足口病	579	16.1	380	10.6	★
伝染性紅斑	2	0.1	3	0.1	
突発性発しん	102	2.8	63	1.8	
ヘルパンギーナ	188	5.2	522	14.5	
流行性耳下腺炎	6	0.2	2	0.1	
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	31	5.2	12	2.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各郡市医師会だより

児 湯 医 師 会

今年も児湯准看護学校の来年度入学試験が10月から始まりました。10月7日は推薦および社会人の入試があり、11月11日に一般入試が行われる予定です。

准看護師養成所は現在宮崎県内では、都城看護専門学校と日向看護高等専修学校と当校の3校だけとなってしまいました。定員数は3校合わせて97名です。当校はその中でも一番少ない20名です。しかしながら令和4年度は11名、令和5年度は21名と入学する学生がなかなか集まらない状態です。看護学校教務と事務局で、近隣の高校の進路指導の先生にお願いに行ったり、児湯郡内の広報誌などに募集広告を行ったり、医師会の先生方の施設に入学生募集のポスターを掲示していただいたりと、今年も入学志願者を一人でも多くと努力しているところです。児湯5町からの支援をいただいています。学校運営は大変困難な状況が続いており、医師会の先生方にはご心配をいただいています。まだまだ病医院、老健施設など准看護師のニーズも多く、今後も准看護師養成が必要なようですので、永友和之校長、鳥原先生共々にもう少しだけ頑張ってみましょう！

(蟻塚 高生)

宮 崎 市 郡 医 師 会

マイナ問題が報道されない日はない。普及させるためにポイントで誘導し、突然、保険証廃止が決まり、現場から多くの問題が噴出しています。高齢者、障害者などで登録困難があり、施設での取り扱いは？ 停電や災害時は？ 顔認証ができない、情報の紐づけの誤りなど枚挙に暇がありません。先日、宮崎市郡医師会例会で医療DX、セキュリティの講演がありました。便利さは理解しますが、個人情報漏洩の危険性、現場、自治体の業務負担の増加などがあり、保険証を残すのが皆保険制度を守り、安心安全安価であると考えます。

(遠藤 豊)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

県常任理事を拝命し1年が過ぎました。まだまだ勉強途中ですが、さまざまな学びがあり、非常に楽しく業務にあたっております。今後、マイナ保険証や医療DXの推進、働き方改革、2025年問題などさまざまな医療を取り巻く変

革・課題が待ち受けております。そういった課題・問題をいち早く先生方にお届けし、また疑問やご意見を県医師会へ伝えるべく今後も業務に取り組んでまいります。最後に私ごとですが、今年も年末の青太フルマラソンに参加します。参加される先生方、一緒に頑張りましょう。

(吉見 雅博)

延 岡 市 医 師 会

厚生労働省の資料によると延岡地区は外来患者、入院患者とも減少に転じていることが示されています。つまり、すでに過当競争が始まっており、医療機関は生き残りをかけて道を探らねばなりません。延岡市医師会病院では糖尿病・膠原病などの内分泌代謝疾患を軸にすえた経営戦略を進めています。5人のドクターのうち糖尿病専門医を含む3人は内分泌代謝が専門です。また今後は治療内視鏡、透析なども視野に入れています。生き残りをかけて…シン病院運営計画発動中です。

(赤須 郁太郎)

日向市東臼杵郡医師会

当医師会では日曜・祝日等当番医と一次救急（月～金19：30～21：30）の当番を会員みんなで分担しています（小児科・産科は別枠で）。そこで最近「何歳になったら辞退していいか？」ということが議題にあがりました。当医師会会員は99名、現役最高齢92歳、平均年齢61歳。会員にアンケートをとった結果「75歳になり本人の申し出があれば免除に」という方向になってきました。しかし、75歳を過ぎてみなさんお元気です。年中ウイルスや細菌、ストレスにさらされ、免疫力が強化されているからかもしれません。

（堀之内 和代）

西都市西児湯医師会

西都市役所健康管理課の尽力により、西都市STOP AT ONE事業が少しずつ進み始めました。西都市STOP AT ONE事業とは骨粗鬆症における二次性骨折予防の取組みです。当初、75歳以上の大腿骨近位部骨折に絞る予定でしたが、データ入手は国保レベルが容易と分かり本年度は75～79歳全員（約2,000人）に受診券を発行してもらいます。DXAによる骨密度検査を行い骨粗鬆症の治療をされていない方に治療開始、治療継続につなげればと思っています。来年度は65～74歳の骨折歴のある患者様をターゲットにしてみたいと思います。

（松本 英裕）

南那珂医師会

10月1日から始まったインボイス制度について南那珂医師会で協議しました。インボイス制度は複数税率（8%・10%）を明記した適格請求書、いわゆるインボイスを用いて消費税

の透明性を保つことを大義としています。インボイス（invoice）の語源を調べると、中期フランス語の原義で「送られたもの」や「送り状」を意味していました。国税庁が言う「適格請求書（インボイス）」の「適格」の意味は原義にありません。今後、インボイス制度が適確に運営されることを願っています。

（峰松 俊夫）

西諸医師会

2類から5類感染症へと変更になり3か月が経過しましたが、医療機関におけるコロナ感染症対策は依然として終わりが見えない状態です。感染者数などの情報把握が不透明となり、外来でのトリアージに難渋する一方では、院内感染も後を絶たず、入院時や退院および転院時の感染チェック体制に加え、スタッフ感染による日常診療への影響など苦慮する日々が続いています。地域の医療体制堅持のため医療従事者としてその責務を果たすべく、今後も引き続き全スタッフと一致団結して対応してまいります。

（坪内 斉志）

西臼杵郡医師会

全国的に落ち着きつつあった新型コロナ感染が今年4月ごろ県北に突出して流行し、珍しく当地区が第9波の先駆けとなった感がありました。その影響で、またまた医師会総会が中止となり、現植松郡医師会長となって対面の会合は開かれないままになってしまいました。郡内の大きな動きとして、郡内3町国保病院の統合に向けて各病院の病床を機能的に稼働するための連携が今年度から始まりました。今年度中に高千穂町病院に事務局が入るスペースを増築し、2024年4月には本格稼働の予定です。

（興梠 知子）

宮崎大学医学部だより

臨床神経科学講座 ー精神医学分野ー



いしだ やすし
石田 康 教授

2002年11月の石田康教授就任から20年あまりが経ち、2024年3月に退官を迎えます。これまで宮崎県医師会、宮崎大学医学部の先生方のご支援を賜りましたことを、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

現在、宮崎大学には平野羊嗣准教授、船橋英樹講師（医局長）、宮原裕講師（病棟医長）、大平洋明助教（教育医長・卒後臨床研修センター）、古郷央一郎助教（救命救急センター常駐）、金丸杏奈助教（副病棟医長）、石本明実助教（外来医長）、上野鷹司郎助教（リエゾン責任者）、久保浩明助教（臨床心理士）、田村俊介助教（脳波解析担当）、医員5名、大学院生3名が、臨床、教育、研究に携わっています。教室員も宮崎大学安全衛生保健センターの武田龍一郎教授、宮崎県精神保健福祉センターの直野慶子センター長、県立宮崎病院精神医療センターの河野次郎センター長をはじめとして、それぞれの地域の精神科医療/精神保健で活躍しております。

研究領域について、かゆみ研究チームが行動薬理学的・免疫組織学的な解析を行っています。ドパミンの研究を続けられてきた石田教授が、退官を前に大学院生とともに顕微鏡をのぞいている姿は当医局が基礎研究を大切にしてきた表れです。船橋講師はマイアミ大学留学時代の仕事である光遺伝学を用いた扁桃体や腕傍核のかゆみへの関与を報告し（J Neurosci 2023）、ジョンズホプキンス大学留学から帰国した宮原講師はセロトニンやノルアドレナリン受容体の薬理操作によりかゆみとの関連を明らかにし（Eur J Pharmacol 2019, Eur J Pharmacol 2020, Biol Pharm Bull 2023）、出向中の治田彩香医師は抗てんかん薬の抗搔痒効果やかゆみにおけるカイニン酸受容体の働きを報告（Biochem Biophys

Res Commun 2020, Eur J Pharmacol 2023）しました。大学院生の古郷助教、金丸助教を含めて、これらの仕事は西森利数名誉教授（宮崎大学医学部神経生物学前教授）のご指導を受けています。また、新たな研究チームとして九州大学から20年ぶりに母校に戻られた平野准教授と田村助教を柱に、脳波解析などを用いて精神疾患や精神現象の視覚化を試みており（Front Hum Neurosci 2023, Cereb Cortex 2023など）、また国内多施設臨床脳波コンソーシアムの整備を行っています。また、久保助教は前任の九州大学での知見をさらに広げたひきこもり研究を（Front Psychiatry 2023）、古郷助教は本県の自殺関連行動の特徴を把握するために大学病院と県立宮崎病院のデータを集積しています（精神神経学雑誌 2019）。これらの研究や臨床経験は生物学的精神医学会、Society for Neuroscience, World congress of itch, 日本精神神経学会、九州精神神経学会、総合病院精神医学会、老年精神医学会、精神科救急学会、緩和医療学会、サイコオンコロジー学会、集団精神療法学会など国内外の学会で発表を行い、論文文化しています。

精神保健指定医、精神科専門医・指導医のライセンスはもちろんのこと、一般病院連携精神医学専門医、老年精神医学専門医、精神科救急学会専門医、子どものこころ専門医、緩和医療学会専門医などの認定施設でもあり、精神科のジェネラリストからサブスペシャリティの育成に励んでいます。今後も教室員一丸となって宮崎県の医療を支えていけるよう精進いたします。宮崎県医師会の先生方におかれましても、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

（医局長 船橋 英樹）



部会だより

園医部会

たかやま しゅうじ
高山 修二 部会長

宮崎県医師会園医部会は、保育園（所）・幼稚園などの乳幼児保健衛生の向上発展並びに当該園全職種との連携・研修および相互の協力を図ることを目的に、平成11年に

発足し、現在164名（7月25日現在）の保育園・幼稚園の園医で構成されています。毎年6月に理事会を開催し、前年度の事業報告・歳入歳出決算・次年度の歳入歳出予算案を承認していただいています。理事会での主な議題は総会・研修会で行われる講演会の講師選定です。今までは保育園・幼稚園のスタッフにも多数出席してもらえるよう分かりやすい内容で、土曜日の午後に県医師会館で開催し好評を博していました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大で皆が集うことがなくなりました。令和2年度、3年度はやむを得ず対象を医師に限定してWeb開催でしたが、令和4年度はかろうじて現地（県医師会館）とWebのハイブリッド開催とすることができました。

令和4年度園医部会総会・研修会は令和4年9月26日(月)夜7時から医師24名、医師以外66名、計90名の参加で行われました。特別講演は「ゆりかごから…～スマホがつくる孤独、癒やす孤独～」と題して山梨県立精神保健福祉センター所長志田博和先生にお話ししていただきました。とても分かりやすく、内容も充実しており、

別の機会にもう一度講演していただきたいと思います。印象に残った点を以下に記します。

- ・親のスマホ依存はプチネグレクト→発達性トラウマ障害
- ・母親がわりのスマホ（とその先のネット社会）：スマホとその先の世界を愛着対象とせざるを得ない悲しい現実→そこにあるのは絶望的なまでの「孤独」
- ・スマホを子守りの道具として使わないで！
- ・ネットの使いすぎ→依存、言語性IQの低下、コミュニケーション障害、発達障害的問題への発展

* 親へのアドバイス

① 朝ごはんはちゃんと食べさせて、毎日可能な限りなんでもよいのでさりげなく表情を見ながら話をしましょう。② スマホはあなたの所有物で、子どもに貸し与えているもの、きちんとルールを決めて、あなたもルールを守りましょう。ご自身のスマホ使用に問題がないのか、の検討も必要でしょう。

今後も年1回ではありますが、素晴らしい講師をお迎えし園に関わる全職種の方々、園医の先生方にも喜ばれる研修会を開催していきたいと思っております。

今後とも園医部会をよろしくお願いいたします。

旅行記

81歳四苦八苦の四国遍路 その3

宮崎市 ^{たか}高 ^{さき}崎 ^ま真 ^{ゆみ}弓

複数ある遍路道のどれを選ぶか

へんろ道は複数ある。同じ道を戻るところもあれば、寺を番号順に回るより順番を変えたほうが距離が短くなるところもあるので、地図を十分に読み込む必要がある。そのうえで、自分の体力と相談しながら、明日どこを歩くか、どこへ泊まるか、昼食はいるかを決める必要がある。

足摺岬の38番金剛福寺から39番延光寺までのルートは、A～Eまで5つもある。下ノ加江の分かれ道の遍路石には、AもBも同じ距離であることが示されている。Aが本来のへんろ道だが、民宿の親父さんに「Aは車が多くて危ない。Bはほとんど車が通らない。Bには急な上りもないから、Bを行け」と、強く勧められた。また、「昼は、三原の小学校が見えたら向かいにカフェがあるから、そこで食べれ」と言われ、そのとおりにした。確かに車道なのに車は30分に1台しか通らない。ところが、カフェに10時半に着いてしまった。11時オープンだという。困っていたら、責任者の方が準備のできているランチでよかったらと出してくれた。ありがたい。

この日は39番を打ち、さらに宿毛市のホテルまで40kmも歩いた。今夜はローストビーフを焼いて待っている甥の家へ、ドラッグストア・コスモスでたまったクーポンを使って一番高い赤ワインを買って持参し、「ここまでへんろ道の半分を歩いたのだから、残りも歩き通せるだ

ろう」と、祝杯をあげた。

足のマメ対策あれこれ

背荷物を軽くしたためか、慣れてきたためか、足摺岬まで歩いて腰の筋肉痛はほぼ治った。ときどきアセトアミノフェンを飲んではいるが、不安はない。ただ、右踵の上にときどきマメ（水泡）ができる。

遍路30回目という超ベテランに、「足にマメはできませんか？」と聞いたら、「めったにできない」との返事。いかにベテランでも、ときにはできるのだ。そうして教えてくれた。「急いで歩かないこと。急ぐと足で蹴るから趾先に負担がかかりマメができる」「なるほど」と、納得した。

ガイド本解説編によると、靴は軽登山靴がよいと。それも、普段履いているのより1.5～2cm大きいのがいいと書いてあるので、そのとおりにした。確かに足底が厚くなり、母趾は太くなり、足が大きくなった。

前述の民宿の親父さんに「ときどき腰が痛くなってね…」と言ったら、「足にマメはできないか？」と聞く。「ときどきできる」と答えたら、「足のどこかが痛くなると、かばうので対側の膝や腰が痛くなる。マメができて、いつも同じ姿勢で歩け」と、注意された。うーむ、確かにそういうこともあるか。上りでは、どうしても少し前かがみになるし、下りでは臍

を突き出した歩行になりやすい。いつもまっすぐの姿勢か、気をつけてみよう。

勘違いの道間違い

愛媛県に入って内子町から久万高原への2日目、標高800mの鵠田峠を越え、雨の中44番大宝寺を打ち、45番岩屋寺を目指していた。国道や県道の曲がりくねったところや、トンネルのあるところには、その横に旧へんろ道がある。曲がりくねった車道を進むより、へんろ道のほうが距離が短いので、その道へ入った。しばらく上ると広い県道に出た。すぐ目の前にトンネルがある。トンネルも越えたと思い、県道を20～30分下ったら、なんと先ほど見た道路標識がある。しまった、さっきのトンネルは出口ではなく入り口だったか。再び同じ道を引き返した。

雨の降りしき中、午後2時半に今日の民宿「八丁坂」へ着いた。2時前に着いたら、ザックを置いて4時間の予定で岩屋寺を往復しようと考えていたが、予定が狂ってしまった。雨降りでもあり明日に延期した。

88番大窪寺へ向かっているときも同じことがあった。旧へんろ道から車道に出ると、どちらに進んでいいかわからない。このときも山の中の雨降りで、屋根のある場所はなく、携帯電話や地図を出す勇氣はなく、思案のうえ通る車を止めた。車には女性が2人乗っていた。「大窪寺はどちらですか？」と聞いた。彼女らにはカーナビがある。大窪寺に着いたら、「先ほど聞いた方、無事着きましたね」と、ひやかされた。

へんろ仲間ができる

ベテランの「通し打ち」お遍路さんは健脚で、私のようなのんびり者と後日再会することはないが、初めての人とは同じペースで歩くことが多く、頻繁に出会う。

高知の民宿「高知屋」で出会った韓国から来たAさんとは、よく出会い一緒に歩いた。彼はあまり日本語を話せないが、英語とチャンポンで話が弾んだ。彼は59歳、税理士で、今回は足

摺岬まで行って帰ると言う。

ドイツ人のBさんは、テントを背負っている。初め後ろから見たら、右に傾いているので、「右脚が痛いのか？」と聞いた。「No」との返事。数日後にまた会ったら、「右に傾いていたのは、ザックのパッキングが悪かったからだ」と弁明した。その後も何回か会ったが、最後は香川県に入って私が80番国分寺へ下っていたら、下から上がってきた。彼は番号順に打ったのだ。携帯電話の翻訳機能を使って、「欧米人は皆、88番を打った後、1番へ戻り、その後高野山へ行くが、お前は行くか？」と聞く。「俺は今回は88番で結願だ。高野山へは今秋行く」と返事をし、「完遂を祈ってる」と別れた。

オーストリアのウィーンから来た青年Cさんにもよく会った。彼は遍路の後、将棋を打ちに行く。

驚いたのは、久万高原の途中の「たどビレッジ」で同宿したニュージーランド人の男性Dさんだ。宮崎で9年暮らし、奥さんは清武の人だという。「年に1回は清武へ行くよ」と。今は白馬で旅行会社を営んでいる。

(つづく)



前を歩くベテランのお遍路さん3人

第24回宮崎県医師会医家芸術展

第24回医家芸術展が、8月10～13日の4日間（9日は台風6号接近にともない県立美術館が臨時閉館）、県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。492名の方にご来場いただき、盛会裏に終了することができました。ご出展いただいた会員およびご家族の皆さまに感謝申し上げます。

なお、出展された作品の一部につきましては、作者の許可を得まして、日州医事の表紙を飾る予定となっております。楽しみにお待ちください。

最後に、今年度も世話人の、山内励先生、押川紘一郎先生には多大なご尽力をいただきました。ここにお礼申し上げます。

出展者数、出展数および、開催期間中の来場者数は右表のとおりです。

	出展者数	出展数
写 真	10名	36点
絵 画	5名	13点
書 道	14名	40点
その他	2名	15点
合 計	31名	104点

	来 場 者 数
8月10日(木)	57名
8月11日(金)	180名
8月12日(土)	141名
8月13日(日)	114名
計	492名

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、5月1日から10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

九州医師会連合会第409回常任委員会

と き 令和5年8月5日(土)

ところ ホテル日航熊本およびWeb参加(沖縄県)

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶(長崎県森崎会長)

3 報 告

1) 九州医師会連合会事務引継ぎ(令和5年7月15日(土)大分市)について(長崎)

大分県医師会館において、監査会に引続き、事務引継ぎを滞りなく終了した旨の報告が行われた。

2) 元日本医師会副会長・元福岡県医師会長竹嶋康弘先生のご逝去に伴う弔慰について(長崎)

後日開催される「お別れの会」の際に、九医連合会役員等慶弔規程に基づき、弔電、供花、香典を敬供することが報告された。

3) 佐賀県医師会顧問、元佐賀県医師会長、元日本医師会理事・監事凌俊朗先生のご逝去に伴う弔慰について(長崎)

九医連合会役員等慶弔規程に基づき、弔電、供花、香典を敬供したことが報告された。

4 協 議

1) 令和6年度九州医師会連合会学校医会負担金について(宮崎)

令和6年度は「九州ブロック学校保健・学校医大会」「全国学校保健・学校医大会」と同時開催することから、九州各県医師会の負担金は徴収しないことが承認された。

2) 令和5年7月の豪雨災害に係る見舞金について(長崎)

「九州医師会連合会災害見舞金に関する

申し合わせ」などをふまえ、7月の豪雨により大きな被害を受けた秋田県と福岡県に対し見舞金を贈ることが承認された。

3) 九州医師会連合会第411回常任委員会並びに第126回臨時委員総会(11月24日(金)長崎市)の開催について(長崎)

九州医師会医学会・総会に合わせ開催される常任委員会と臨時委員総会で、原案どおり承認された。

4) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11月25日(土)長崎市)の開催について(長崎)

九州医師会医学会・総会に合わせ開催される合同協議会で、原案どおり日医松本会長の中央情勢報告を依頼することが承認された。

5 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

九州医師会連合会第410回常任委員会

と き 令和5年8月26日(土)

ところ ホテルニュー長崎

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶（長崎県森崎会長）

挨拶に引き続き、議案説明のため大分県植山茂宏委員、長崎県釣船崇仁・藤井卓委員の3名に同席いただくことの確認が行われた。

3 報 告

1）第125回定例委員総会について（長崎県）

① 参加者数について

常任委員会終了後に開催される委員総会などの説明が行われた。

4 議 事

第1号議案

令和4年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

大分県から、歳入合計129,562,758円（前年度繰越79,072,287円含む）、歳出合計43,971,290円、差引85,591,468円を長崎県に繰越す旨の説明が行われ原案どおり承認された。

第2号議案

令和5年度九州医師会連合会事業計画に関する件

長崎県から、定例諸会議の開催に関する事業計画などの説明が行われ原案どおり承認された。

第3号議案

令和5年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案

令和5年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

議案第3号および4号は一括提案となり、長崎県から、前年度同額の会員一人年額2,000円（卒後5年間減免拡大後の会員数24,013名）とすることおよび歳入歳出135,318,468円からなる予算の説明が行われ原案どおり承認された。

第5号議案

令和5年度九州医師会連合会監事（2名）の選定に関する件

長崎県から、慣例で隣県の佐賀県志田正典委員、熊本県坂本不出夫委員を監事に選定することが提案され原案どおり承認された。

第6号議案

令和5年度第123回九州医師会医学会事業計画に関する件

長崎県から、11月24日(金)に前日諸会議、25日(土)に役員合同協議会と総会・医学会、26日(日)に5つの分科会と5つの記念行事を計画している旨の説明が行われ原案どおり承認された。

第7号議案

令和5年度第123回九州医師会医学会会費賦課に関する件

長崎県から、前年度同額の会員一人年額2,000円（卒後5年間減免拡大後の会員数24,013名）とする旨の説明が行われ原案どおり承認された。

以上、第1号議案から第7号議案の協議結果は、定例委員総会に上程することが重ねて承認された。

第8号議案

次回第124回（令和6年度）九州医師会医学学会開催担当県の決定並びに次々回第125回（令和7年度）同学会開催担当県の内定に関する件

九医連（九州医学会）医学会施行細則などをふまえ、次回担当県を熊本県に決定、次々回担当県を福岡県に内定することが承認された。

5 その他

- 1) 「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業並びに診療報酬上の臨時的な取扱いの継続に関する要望事項」に対する日本医師会からの回答について
- 2) 全国医師国民健康保険組合連合会の国保問題検討委員会委員の選出方法などについて

6 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣、スクラブ、パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが、どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先
宮崎県医師会 担当 平川
TEL 0985-22-5118
FAX 0985-27-6550

第125回九州医師会連合会定例委員総会

と き 令和5年8月26日(土)

ところ ホテルニュー長崎

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長

大分県医師会長 河野 幸治

2) 九州医師会連合会長

長崎県医師会長 森崎 正幸

3 来賓祝辞

1) 日本医師会長

松本 吉郎

2) 日本医師会名誉会長

横倉 義武

3) 日本医師会常任理事

今村 英仁

4) 日本医師会常任理事

濱口 欣也

4 来賓紹介

1) 参議院議員

羽生田 俊

2) 参議院議員

自見はなこ

5 報 告

1) 第410回常任委員会について

森崎会長から、第1号議案から第7号議案までを本定例委員総会に提案することおよび令和6年度九州医師会医学会の開催が熊本県に決定、令和7年度が福岡県に内定したことが報告された。

2) 令和4年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

昨年度担当県であった大分県の内田委員から、資料にもとづき報告があった。



6 議 事

第1号議案 令和4年度九州医師会連合会 歳入歳出決算に関する件

昨年度担当県であった大分県の植山委員から、資料にもとづき説明の後、監事である本県の小牧委員から監査報告があり、原案どおり承認された。

第2号議案 令和5年度九州医師会連合会 事業計画に関する件

長崎県の釣船委員から、資料にそって説明があり原案どおり承認された。

第3号議案 令和5年度九州医師会連合会 負担金賦課に関する件

第4号議案 令和5年度九州医師会連合会 歳入歳出予算に関する件

第3号および第4号議案は関連議案として、長崎県の藤井委員から、資料にもとづき一括して説明があり、原案どおり承認された。

第5号議案 令和5年度九州医師会連合会監事 (2名)の選定に関する件

慣例により、担当県の隣接県である佐賀県、熊本県から選出することが承認され、事前に推薦された佐賀県の志田正典委員、熊本県の坂本不出夫委員が選定された。

**第6号議案 令和5年度第123回九州医師会
医学会事業計画に関する件**

長崎県の釣船委員から、資料にもとづき説明があり、原案どおり承認された。

**第7号議案 令和5年度第123回九州医師会
医学会会費賦課に関する件**

長崎県の藤井委員から、資料にもとづき説明があり、昨年同様の会員一人当たり年額2,000円で、九医連の資料のとおり卒後5年間会員（研修医含む）は、減免により無料とすることが承認された。

出席者－河野会長、山村・小牧副会長、
吉田・金丸常任理事
竹崎事務局長、久永・松本課長、
湯浅課長補佐、本崎主事

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。

日医インターネットニュースから

■改定に向け、「議論の整理」を提示 — 4月以降の意見集約 —

厚生労働省は8月30日の中医協総会（会長＝小塩隆士・一橋大経済研究所教授）で、2024年度診療報酬改定に向けた4月以降の議論の整理を示した。幅広いテーマで、現時点での取りまとめを示した格好だ。改定の基本方針策定に向け、議論を始めた医療保険部会・医療部会にも、同様に議論の整理を報告する予定だ。

議論の整理では、医療DX、入院、外来、在宅、感染症、調剤といったテーマごとに、「現状と課題」「論点」「主な意見」を示している。総会で、厚労省保険局の眞鍋馨医療課長は、主要な意見をピックアップして説明した。

議論の整理などによると、改定施行時期の後ろ倒しを巡っては、「ベンダーや医療機関の作業の短期集中をどの程度延長すれば必要な効果が得られるのか、財政にどのような影響があるのか、総合的に検討する必要がある」との意見が出ていた。医療機関・薬局の具体的メリットについて、明確化を求める意見が強かった。

急性期・高度急性期入院医療では、高齢者の救急搬送件数の増加への対応として、3次救急からの下り搬送を評価すべきとの声があった。高齢患者に多い誤嚥性肺炎や尿路感染症の入院治療については、「地域包括ケア病棟での一層の対応が必要ではないか。ただし、地ケア病棟は看護配置13対1で、対応可能な救急医療には限界がある」との見方も示された。

改正医療法に基づき、患者が希望する場合、かかりつけ医機能として提供する医療内容の書面交付が25年4月に施行となる。これに向け、「生活習慣病管理料の療養計画書と、内容や役割が重なることが考えられる。より効率的な情報共有の方法について整理が必要」「特定疾患療養管理料についても、計画書の作成を議論すべきではないか」といった主張がある。

改正感染症法関連の対応としては、「協定締結医療機関のみならず、多くの医療機関による適切な感染対策を下支えしつつ、新興感染症の状況によって、さらなる緊急的な措置を講じるようにすべき」との声が出ている。

医師の働き方改革については、「これまで診療報酬や地域医療介護総合確保基金による支援が行われているが、一朝一夕にできるものではなく、さらなる強力な支援が必須」との指摘があった。

●明細書の無料発行、「引き続き検討を」

議論の整理を踏まえ、松本真人委員（健保連理事）は「検証調査結果が出てくるもの、分科会で議論されているもの、まだ議論されていないものを含めて、次回以降議論を深めていきたい」とした。

佐保昌一委員（連合総合政策推進局長）は「22年度改定の答申書付帯意見では、明細書の無料発行について、引き続き検討することとされた。24年度改定の議論でも、無料発行がさらに促進されるよう、検討を進めてもらいたい」と強く求めた。（令和5年9月1日）

■医療DX推進へ、安全・費用の不安解消を — 佐原常任理事 —

日本医師会の常任理事に就いた佐原博之氏はメディアファクスの取材で、医療DXに伴う医療機関の負担増を指摘し、「多くの医療機関に安心して参加していただけるかが、最大の課題になる」と述べた。医療DXの推進に当たっては、「誰一人取り残さないことが重要だと、日医は主張している」と説明。ICTに不慣れな医師・スタッフでも安心して使用でき、費用面の不安を解消して進められるよう、国に求めている姿勢を示した。佐原氏は現在、日医の医療IT委員会の委員長を務める。石川県医師会理事としては、地域医療や地域包括ケア、診療情報ネットワークなどを担当している。

政府が進める医療DXの方向性には、「基本的には賛成」とした。「地域を面で支えるのかかりつけ医機能を発揮するためには、ICTによる診療情報の共有は不可欠。オンライン資格確認のネットワークは、日医が『IT化宣言2016』で必要性を訴えていた医療機関専用ネットワークそのもの」と語った。

他方で、現場の医師にはICTに不慣れな人もいるほか、運営・更新に伴うコストや、サイバ

ーセキュリティ（CS）への不安があると指摘した。医療DX推進のベースとなる電子カルテの普及が進まない背景にも言及。各ベンダーによる規格の違いや互換性のなさに加え、「導入費用やランニングコスト、更新費用も、現在の診療報酬では負担が大きく、CS対策に不安があることが要因になっていると思う」とした。

「標準型電子カルテ」を開発・普及させるとの政府方針については、「医療DX推進に向けた最初のきっかけになることが大事。安価な電カルが安全に使える環境が整備されることを期待したい」と述べた。

●医師の無関心、「医師会にも責任」

2006年に石川県医の「医師会の在り方に関する検討委員会」の議論に初めて参加した際、「私たち自身が医師会について知らないことが多く、なぜ医師会について知らないのかという疑問に直面した」と振り返る。「私たちは日本の医療や医師会について考える機会があまりなかった。これは私たち（医師）だけでなく、医師会側にも責任があるのではないかと感じた」と話す。

その後、大学病院や中央病院の研修医向けオリエンテーションや、基幹病院の医局会に出向き、医師会について説明する機会を得た。16年からは、県内の研修医を一堂に集めた「いしかわ研修医合同オリエンテーション」を開催。こうした活動を通じて、研修医の日医への入会率が向上したという。「いろいろなところで良い取り組みがあると思うので、それを収集して展開していくことが大事だ。都道府県医師会、郡市区等医師会を生かすのが日医の役割ではないか」と力を込めた。（令和5年9月5日）

■昨年度の概算医療費、総額「46.0兆円」

— 2年連続で過去最多・オミ株影響 —

厚生労働省が9月1日に公表した2022年度

の医療費の動向によると、概算医療費は総額46.0兆円で、21年度比で約1.8兆円増（4.0%増）となった。2年連続で過去最大に伸びた。新型コロナの感染拡大で受診者数が減った20年度の反動や、オミクロン株の感染拡大による患者増加などが影響した。

コロナ前の19年度と比べた伸び率を、1年当りに換算すると、1.8%増となる。コロナ前の医療費の1年当たりの伸び率が2～3%程度だったことや、コロナの影響があることを踏まえると、厚労省は「それほど高い水準の伸び率ではない」としている。

21年度比の伸び率「4.0%」の内訳は、人口減の影響がマイナス0.4%分、診療報酬改定等がマイナス0.94%分、高齢化の影響が0.9%分、それ以外が4.5%分としている。

●病院3.1%増、診療所8.1%増

診療種類別に見ると、医科入院は18.1兆円（21年度比2.9%増）、医科入院外は16.2兆円（6.3%増）、歯科は3.2兆円（2.6%増）、調剤は7.9兆円（1.7%増）だった。受診延べ日数は、全体で21年度比2.0%増となった。診療種類別では、▽医科入院1.1%減 ▽医科入院外3.1%増 ▽歯科0.2%減 ▽調剤4.4%増－。

医科の医療費（入院・入院外）を病院・診療所別に見ると、病院全体は24.8兆円（3.1%増）、診療所全体は9.6兆円（8.1%増）という状況だ。公的病院は8.92兆円（3.8%増）、法人病院は12.37兆円（2.5%増）、大学病院は3.37兆円（4.1%増）だった。

診療所の主な診療科別では、半分近くを占める内科が4兆5,643億円（7.3%増）。

概算医療費は、医療機関からのレセプトに基づき、医療保険と公費負担医療分の医療費を集計したもの。国民医療費の98%に当たる。

（令和5年9月5日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

当組合のWebサイトをリニューアルいたしました

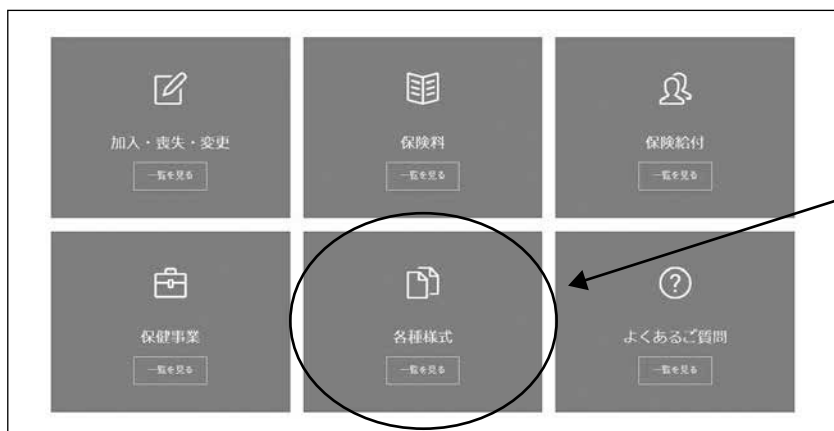
スマートフォンでの表示に対応し、ご要望のあったお問い合わせフォームを追加いたしました。今後ともよりよいWebサイトとなるようブラッシュアップいたします。組合員の皆様方のご利用についてよろしくお願いいたします。



「宮崎県医師国保」で検索または、二次元バーコードから読み取ってご利用ください。



【Webサイト二次元バーコード】



各種様式は、こちらから簡単にダウンロードできますので、ご利用ください。

<自家診療の給付制限について>

当組合では「保険給付に関する内規」により、自家診療における給付を制限しております。

組合員が開設または勤務する保険医療機関などにおける被保険者（組合員および世帯に属する被保険者）の診療については、療養の給付は行いません。また、自家診療にともなう調剤レセプトも認められません。

ただし、70歳以上の被保険者の自家診療など、一部認められる場合もございますので、詳しくは当組合のWebサイトにて「保険給付」の項目をご確認ください。

先生方のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

～保健事業のご案内～

1. 健康診断（特定健診）・特定保健指導 ※無料です

健康診断（特定健診）

◆ 対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）

◆ 日曜日健診について

宮崎市郡医師会病院健診センターにて日曜日の健診を実施しています。

ご予約は当組合へ（☎0985-22-6588）

Web申込もできます!⇒



年	月 日	健 診 (定員各30名)	オプション		
			胃内視鏡 検査 (定員各6名)	低線量ヘリカルCT 肺がん検診 (定員各8名)	マンモグラフィ 検査 (定員若干名)
令和5年	10月15日	△	×	×	○
	11月19日	○	×	○	○
	12月10日	○	×	△	○
令和6年	1月21日	○	×	△	×
	2月25日	○	×	×	○
	3月10日	○	×	△	○
	3月24日	○	○	○	○

(令和5年9月27日現在) ○: 予約可, △: 間もなく定員, ×: 予約不可

◆ 自家健診について

自院でも組合員およびご家族の特定健診を実施することができますが、組合員が自らに対して健診を行った場合（自己健診）は、特定健診の対象とはなりません。

健康診断個人票（水色）の必須検査項目（★印の項目）は必ず実施してください。

特定保健指導

対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りします。利用券が届いた方は、ご案内に記載している実施機関にて保健指導を受けてください。

2. インフルエンザワクチン接種補助

◆ 対 象 者 被保険者全員並びに高齢組合員

◆ 補助金額 1人1回 2,000 円（高齢組合員は 1,000 円）

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

事業所が法人化するなどの場合は、社会保険（健康保険と厚生年金）が強制適用となりますが、医師国保にすでに加入中の方は、年金事務所から健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができますので、Webサイトをご確認いただくか、当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

9月のベストセラー（宮崎県）

集計：2023年9月1日～9月23日

1	柳橋の桜（四）夢よ，夢	佐 伯 泰 英	文 春 文 庫
2	102歳，一人暮らし。	石 井 哲 代	文 藝 春 秋
3	鵠 ねえ いしおみ の碑	京 極 夏 彦	講談社ノベルス
4	変な家	雨 穴	飛 鳥 新 社
5	日本の死角	現 代 ビ ジ ネ ス 編	現 代 新 書
6	1年で億り人になる	戸 塚 真 由 子	サンマーク出版
7	言語の本質	今井むつみ・秋田喜美	中 公 新 書
8	52ヘルツのクジラたち	町 田 そ の こ	中 公 新 書
9	限りある時間の使い方	オリバー・パークマン	か ん き 出 版
10	クスノキの番人	東 野 圭 吾	実業之日本社文庫

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎ (0985) 56-0868



令和5年8月1日(火) 第5回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

①10/7(土) (宮崎市民プラザ)「第13回宮崎健康フォーラム」名義後援について
→「地域に必要とされる救急医療の質」をテーマに疾病予防と治療啓発を目的に開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②10/25(水) (宮観ホテル) 過労死等防止対策推進シンポジウムの後援名義使用承認申請について
→過労死の防止を目的に開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。

③11/25(土) (宮崎市) 令和5年度「いいお産の日 in 宮崎」の名義後援について
→「つなげよういのちの輪」をテーマに開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①県国民保護協議会委員の承諾及び幹事の推薦について
→国民保護計画等について審議するために設置される協議会の、任期満了に伴

う委員の就任承諾と幹事の推薦依頼で、委員は河野会長が就任することを承諾し、幹事は落合理事を推薦することが承認された。

3. 世界医師会準会員の更新について

本会から山村・小牧副会長を登録すること及び個人登録の会員については意向を確認のうえ手続きをすることが承認された。なお、河野会長は日本医師会監事のため日医から登録される。

4. 10/14(土) (長崎)「九州医師会連合会第411回常任委員会・令和5年度第1回各種協議会」及び「九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会」の開催について

常任委員会については、河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。各種協議会については、提案事項の取りまとめ等の担当として、地域医療対策協議会は金丸常任理事、医療保険対策協議会は嶋本常任理事、介護保険対策協議会は石川常任理事が務めること、出席者については、後日事務局から照会することが承認された。勤務医担当理事連絡協議会については、提案事項の取りまとめ等の担当を田畑理事が務めること、出席者については、後日事務局から照会することが承認された。

5. 8/24(木) (県庁) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

4 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、嶋本常任理事を立会人として派遣することが承認された。

6. 令和6年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る事業提案について

「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備」、「居宅等におけ

る医療提供」,「医療従事者等の確保」,「勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備」に関する事業提案を,各郡市医師会,各専門分科医会,県医師会病院部会,県精神科病院協会,県有床診療所協議会に照会することが承認された。

7. 「令和6年度病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」及び「病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備」に係る事業実施意向調査について

急性期病棟から回復期病棟への転換や再編統合等の際の補助事業に関する意向調査について,各郡市医師会を通じて調査に協力することが承認された。

8. 令和5年度医療機関税制セミナーの開催募集について

医療機関経営に係る税制・税務の理解を深めるためのセミナーについて,日本医師会より本県での開催について依頼があり,日本医師会,TKC全国会,県医師会,県医師協同組合の4者共催で例年どおり開催することが承認された。

9. 8・9月の行事予定について

(報告事項)

1. 7月末日現在の会員数について
2. 8/1(火)(熊本)九州地区健康教育研究大会について
3. 7/27(木)(九州厚生局宮崎事務所)社会保険医療担当者の個別指導について
4. 7/31(月)(県防災庁舎)県ひなたの出会い・子育て応援運動推進会議「子育て応援部会」について
5. 7/25(火)(宮観ホテル)各郡市医師会長協議会・羽生田たかし参議院議員国政報告会について
6. 7/26(水)(日向保健所)日向・入郷医療圏地域医療構想調整会議について
7. 7/27(木)(日医)日医地域包括ケア推進委

員会について

8. 7/30(日)(県医2・5階)人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について
9. 7/27(木)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
10. 7/15(土)・16(日)(長崎)九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について
11. 7/26(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 9/2(土)(宮観ホテル)自由民主党宮崎県政経セミナー2023セミナー券の販売協力について

協力することが承認された。

(報告事項)

1. 7/28(金)(JA-AZM)自民党県連国・県に対する政策・予算等要望ヒアリングについて
2. 7/28(金)(宮観ホテル)自民党県連政策懇談会について

令和5年8月8日(火)第9回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

- ①10/22(日)(県総合保健センター)運動器の健康・骨と関節の日 市民公開講座「ひむか骨と関節を考える会」への名義後援について

→運動器の仕組みや障害,予防法について市民の理解を深めることを目的に開催される市民公開講座で,名義後援を行うことが承認された。

- ②10/28(土)(延岡市社会教育センター)令和5年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座への後援のお願いについて
→「健康のために知っておきたい肝臓の

話」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

③11/11(土) (都城医療センター)「第30回都城緩和ケア研究会」名義後援のお願いについて

→「“最期まで寄り添い”の緩和ケア～多職種で支える～」をテーマに開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

2. 10/3(火) (宮観ホテル) 宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会の開催について

宮崎大学との連携強化のため意見交換をする懇談会で、開催すること及び対象者を大学側が学長、理事、副学長、医学部長、病院長、医学部教授(医師)、医師会側が郡市会長、専門分科医会長、代議員、顧問、役員とし案内することが承認された。

3. 業務委託について

①令和5年度梅毒・HIV無料匿名検査事業の委託契約について

→本県において梅毒が急増し、HIVも一定数報告があることから、県が緊急対策として行う無料匿名の検査事業で、県と検査項目を再確認した上で委託契約を締結することが承認された。

4. 8/24(木) (日医) 改正感染症法等に基づく協定に関する説明会(令和5年度都道府県医師会感染症医療提供体制担当理事連絡協議会)の開催について

新感染症発生時等に迅速に医療提供体制を構築するための都道府県と関係医療機関との協定等について説明される会議で、山村副会長、吉田・嶋本・大塚常任理事、峰松理事の5名が出席することが承認された。

5. 審査委員の推薦について

委員1名の辞任に伴う推薦依頼で、辞任した委員の推薦母体である県内科医会から推薦された1名を推薦することが承認された。

6. 9/30(土) (佐賀) 令和5年度女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議の開催について

各県医師会におけるドクターバンクの取り組みや女性医師支援、特に医師の復職や再研修について報告等を行う会議で、荒木・金丸常任理事、上山理事の3名が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 8/4(金) (県医) 日医有床診療所委員会について

2. 8/5(土) (熊本) 九医連常任委員会について

3. 8/6(日) (熊本) 九州地区学校保健会理事会について

4. 8/3(木) (県防災庁舎) 県地方独立行政法人評価委員会について

5. 8/7(月) (県医) 宮崎の医療を考える会(若手記者と広報委員会との勉強会)について

6. 8/3(木) (日医) 日医医療経営検討委員会について

7. 8/2(水) (県防災庁舎) 県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会について

8. 8/5(土)・6(日) (熊本) 第67回九州ブロック学校保健・学校医大会他関連行事について

9. 7/29(土) (県医) 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会について

10. 8/3(木) (ニューウェルシティ宮崎) 県警察官友の会宮崎北支部定時総会・懇親会について

11. 7/27(木) (県医) 地域医療現場における働きやすい環境を考える会について

12. 8/3(木) (県医) 男女共同参画委員会について

13. 7/26(水) (県医) 勤務医部会理事会について

14. 7/30(日) (日医) 日医JMAT研修オプション研修(COVID-19編)について

令和5年8月29日(火) 第10回全理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 会費減免申請について**

研修医及び医学部卒後5年目までの会員74名の会費減免(日医及び県医)申請が承認された。

2. 9/9(土)県医師会役職員緊急連絡網の訓練について

災害時に本会役職員の安否確認するためのメールシステムの通信訓練を9月9日(土)に実施することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①県防災会議の委員及び幹事の推薦について
→本県における総合的な防災行政の推進を目的に設置される会議で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、委員として河野会長、幹事として落合理事を推薦することが承認された。

②県ナースセンター事業運営委員会委員の推薦について
→県ナースセンター事業の円滑かつ効果的な実施を目的に設置される委員会の任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き、池井常任理事と赤須常任理事を推薦することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①11/12(日)(宮日会館)宮崎県皮膚科医会講演会の開催について(名義後援依頼)
→例年11月12日の「いい皮膚の日」の前後に一般の方への啓発活動として開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

②11/14(火)(ニューウェルシティ宮崎)令和5年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動九州地区大会の後援について
→10月11月の「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」期間に、薬物乱用による危

害を国民に周知しその根絶を図る目的で開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

5. 10/17(火)(日医)令和5年度第2回都道府県医師会長会議の開催について

河野会長が出席することが承認された。
また、今回のテーマである「トリプル改定」に関し意見や質問があれば、事務局に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

6. 10/24(火)(県医)各郡市医師会長協議会について

開催することが承認された。議題については、10/17(火)に日医で開催される都道府県医師会長会議の報告等のほか、各郡市医師会にも照会する。また、役員から議題があれば事務局に提出することとなった。

7. 11/14(火)(県医)県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会の開催について

県に対し来年度の要望をするための意見交換会で、本会主催で開催することが承認された。要望内容については、各郡市医師会にも照会し、担当役員が各郡市医師会の意見を含め簡潔に取りまとめることとなった。

8. 業務委託について

①令和5年度県子宮頸がん予防(HPV)ワクチン接種促進事業の委託契約について
→令和4年度から定期接種の勧奨再開及びキャッチアップ接種が開始となったことから新規に実施される医療機関向けの研修会開催やリーフレット作成の事業で、委託契約を締結することが承認された。

9. 診療所の光熱費の変動に関する実態調査について

診療所の光熱費高騰の実態と経営への影響を把握するため、昨年度に続き2回目の調査で、前回同様、対象となる役員が協力をすることが承認された。

10. 10/19(木)第44回産業保健活動推進全国会議の開催について

産業保健活動の在り方等を検討することを目的にWEB形式で開催される全国会議で、吉見常任理事の出席と郡市医師会に案内することが承認された。

11. 「ひなたの出会い・子育て応援運動」への参加登録について

子ども・子育て支援に加え出逢いや結婚について、県民、行政、関係団体、事業所等が積極的に応援していく運動で、参加団体として登録することが承認された。

12. 9・10月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 8/16(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について

3. 8/22(火) (日医) 日医理事会について

4. 8/26(土) (長崎) 九医連常任委員会について

5. 8/10(木) (県医) かかりつけ医機能に関する研修会について

6. 8/21(月) 日医地域医療対策委員会について

7. 8/23(水) (県防災庁舎) 県感染症対策連携協議会について

8. 8/21(月) (県医) 広報委員会について

9. 8/24(木) (日医) 改正感染症法等に基づく協定に関する説明会について

10. 8/26(土) (長崎) 九医連定例委員総会について

11. 8/11(金) (県医) 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会について

12. 8/10(木) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について

13. 8/20(日) (県医) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について

14. 8/25(金) (県医) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について

15. 8/26(土) (県医) 在宅医療協議会総会・研修会について

16. 8/21(月) (県医) 学校医部会総会・医学会について

17. 8/24(木) (県庁) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

18. 8/27(日) (県医) 日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度応用研修会について

19. 8/29(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

20. 8/20(日) 中四九地区医師会看護学校協議会について

21. 8/25(金) 日医公衆衛生委員会について

22. 8/9(水)～13(日) (県立美術館) 第24回医家芸術展について

23. 8/22(火) (県医) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会実行委員会について

24. 8/18(金) (県医) 勤務医部会総会・前期講演会について

25. 8/26(土) (県医) 産業医研修会(前期)について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 10/17(火) (日医) 日本医師連盟執行委員会の開催について

河野委員長と吉田常任執行委員が出席することが承認された。

2. 9/25(月) (東京) 敬人会勉強会のご案内について

日本の創薬基盤の強化についての勉強会で協力することが承認された。

(報告事項)

1. 8/20(日) (ニューウェルシティ宮崎) 河野しゅんじ後援会事務所夏季懇談会について

2. 8/28(月) (宮観ホテル) 三師会懇談会について

3. 8/26(土) (長崎) 九州医連連絡会執行委員会について

県 医 の 動 き

(9月)

2	(福島) 全国有床診療所連絡協議会常任委員会・役員会・総会・講演会(会長) (鹿児島) 全国国保組合協会九州支部監査会(佐々木理事) 県医師会医学会(Web会議)(山村副会長他) (鹿児島) 全国国保組合協会九州支部総会(秦理事長他) (福岡) 九州医師協同組合連合会理事会(小牧副理事長)
3	(福島) 全国有床診療所連絡協議会講演会(会長)
4	県立病院事業評価委員会(会長) 医学会誌編集委員会(Web会議)(小牧副会長他)
5	第6回常任理事協議会(会長他)
6	広報委員会(荒木常任理事他)
7	宮大医学部医の倫理委員会(大塚常任理事) 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会(河原理事) 医師クラーク育成・スキルアップ研修会(Web会議) 医師会組織強化に係る日医役員の面会(会長他)
8	日医年金委員会(Web会議)(会長) 県内科医会理事会(Web会議)(金丸常任理事他)
9	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会(岡山) 全国医師会共同利用施設総会(市来常任理事)
10	(岡山) 全国医師会共同利用施設総会(市来常任理事)
11	広報委員会(荒木常任理事他)
12	第11回全理事協議会(Web会議)(会長他)
13	支払基金審査運営協議会(会長)
14	県産婦人科医会常任理事会(Web会議)(嶋本常任理事他)
15	県有床診療所協議会総会・講演会(Web会議)(会長他)
16	県産婦人科医会秋期定時総会・学術講演会(嶋本常任理事他)
19	日医監事会(Web会議)(会長) 日医役員勉強会(Web会議)(会長) 診療報酬改定に関する都道府県医師会会長会議(Web会議)(会長)

19	日医理事打合会(Web会議)(会長) 日医理事会(Web会議)(会長) 医療保険委員会事前打合せ会(小牧副会長他)
20	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座(荒木常任理事他) 広報委員会(荒木常任理事他)
21	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座(荒木常任理事他) 社会保険医療担当者の集団的個別指導(市来常任理事)
22	労災部会自賠委員会(Web会議) 県保健医療福祉調整本部訓練事前説明会(山村副会長) 損害保険医療協議会(Web会議)
23	日医未来医師会ビジョン委員会(Web会議)(大塚常任理事)
25	医療保険委員会(Web会議)(会長他) 県内科医会会誌編集委員会
26	全国国保組合理事長・役員研修会(Web会議)(秦理事長) 医協理事会(河野理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会(河野理事長他) 第12回全理事協議会(会長他)
27	労災診療指導委員会(赤須常任理事他) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会(嶋本常任理事) 県子宮頸がん予防(HPV)ワクチン接種促進事業研修会(嶋本常任理事他)
28	医療事故調査支援委員会常任委員会(会長他) 健康スポーツ医学委員会(小牧副会長他)
29	日医勤務医委員会(Web会議)(金丸常任理事) 医師国保組合理事会(秦理事長他)
30	県大規模地震時医療活動訓練(山村副会長他) かかりつけ医認知症対応力向上研修会(Web会議)(石川常任理事) (佐賀) 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議(荒木常任理事他) 産業医研修会(前期)(河原理事)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和5年9月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	2	0	2
外 科	1	0	1
産 婦 人 科	1	0	1
検 診	2	0	2
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 93人

	合 計
令和5年度(4/1～9/1)	3
平成16年度から累計	93

3. 求人登録 98件 270人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	86	65	21	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	21	18	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	20	17	3	健 診	3	3	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	13	10	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	4	4	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	11	7	4
小 児 科	3	2	1	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	0	0	0
総合診療科・内科	9	7	2	診 療 科 目 不 問	5	2	3
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	9	7	2	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	5	4	1
リハビリテーション科	4	3	1	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	270	211	59

求 人 登 録 者（公開）

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラムやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外	1	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内	2	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230228	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	非常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和5年9月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台) 所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫 所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台) 所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台) 所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和6年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字程度(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 令和5年12月6日(水)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年9月27日

10			月		
1	日	9:00 人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会	17	火	10:30 (日医) 日医監事会 12:00 (日医) 日医理事打合会 12:15 (日医) 日医理事会 14:05 (日医) 都道府県医師会長会議 16:45 (日医) 診療報酬改定に関する日医連執行委員会
2	月	19:00 園医部会総会・研修会(Web会議) 19:00 健康教育委員会(Web会議)	18	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(Web会議)
3	火	18:30 第13回全理事協議会 19:00 宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会	19	木	13:30 社会保険医療担当者の個別指導 15:00 (日医) 日医医療経営検討委員会 15:30 (日医) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会(Web会議) 19:00 広報委員会 19:00 「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会 19:00 外国人患者対応に関する研修会(Web会議)
4	水	15:00 日医地域医療対策委員会 15:30 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 19:00 県産婦人科医会献金委員会(Web会議)	20	金	
5	木	15:00 日医有床診療所委員会(Web会議) 17:10 「有床診療所の日」記念講演会事前打合せ会(Web会議) 19:00 県内科医会学術委員会(Web会議)	21	土	13:00 保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会 16:00 (福井) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等
6	金	14:00 (日医) 都道府県医師会母体保護担当理事連絡協議会 18:30 県がん対策審議会 19:00 県外科医会秋期講演会	22	日	
7	土	10:00 (青森) 全国医師会勤務医部会連絡協議会 12:15 (滋賀) 全国医師国保組合連合会代表者会 13:40 (滋賀) 全国医師国保組合連合会全体協議会 14:30 産業医研修会(実地)	23	月	19:00 県HPVワクチン接種情報共有会 19:20 県麻しん・風しん対策推進会議 20:00 県予防接種広域化検討会議
8	日		24	火	13:30 みやざき愛の献血運動推進県民大会 18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第14回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会
9	月	(スポーツの日)	25	水	15:00 労災診療指導委員会 19:00 医療従事者向け認知症対応力向上研修会(Web会議)
10	火	19:00 第7回常任理事協議会	26	木	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 県との妊婦健診等に関する協議会
11	水	19:00 広報委員会	27	金	13:00 (兵庫) 全国学校保健会中央大会 19:00 (兵庫) 全国学校保健・学校医大会会長招宴
12	木	9:30 県による公益法人立入検査 10:00 (日南市) ロコモ予防運動推進事業養成講座 18:30 県循環器病対策推進協議会 19:00 県産婦人科医会常任理事会(Web会議)	28	土	10:00 (兵庫) 全国学校保健・学校医大会 16:00 (福岡) 九州医師協同組合連合会通常総会
13	金	19:00 在宅医療研修会企画小委員会	29	日	
14	土	14:00 (長崎) 九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会 16:00 (長崎) 九医連常任委員会 16:00 (長崎) 九医連各種協議会 17:00 県警察医会総会・特別講演会 18:10 (長崎) 九医連各種協議会報告会	30	月	14:00 県医療費適正化計画策定検討委員会 19:00 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議
15	日	12:00 県小児科医会役員会 13:30 宮崎から医師を目指そう応援フォーラム 14:00 県小児科医会秋季学術講演会 14:00 河野しゅんじ県政報告会	31	火	10:00 県高齢者サービス総合調整推進会議 16:00 医学賞選考委員会
16	月	10:00 (都農町) ロコモ予防運動推進事業養成講座 14:00 労災診療費算定実務研修会			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和5年9月27日

11			月			
1	水	11:00 (日医) 日医設立76周年記念式典 並びに医学大会	18	土	14:30 産業医研修会 (TV会議) 15:00 日医未来医師会ビジョン委員会 15:00 (福岡) 九州学校検診協議会 専門委員会 17:00 (福岡) 九州各県医師会学校 保健担当事務者会 19:00 宮大医学部附属病院救命救急 センター開所10周年記念祝賀会	↑
2	木	15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委 員会 18:00 日本リハビリテーション医学会秋 季学術集会会長招宴 18:00 県医療審議会医療計画部会				
3	金	(文化の日) 8:30 県医親善ゴルフ大会				
4	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ 16:30 全国医師協同組合連合会通常総会				
5	日	8:30 ACLS研修会	19	日	15:00 宮大医学部附属病院医師研修 管理委員会 19:00 広報委員会	国 保 審 査
6	月					
7	火	19:00 第8回常任理事協議会			10:30 日医監事会 11:30 診療報酬改定に関する都 道府県医師会長会議 (Web 会議) 13:00 日医理事打合せ 14:00 日医理事会	
8	水					
9	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web 会議)	22	水	13:30 宮大経営協議会 19:00 県糖尿病発症予防・糖尿 病性腎症重症化予防研修 会 (Web会議)	↓
10	金	19:00 医療現場のワークライフ balan スセミナー (Web会議)			(勤労感謝の日)	
11	土	15:00 (大分) 九州各県内科医会連絡協 議会他 16:00 県整形外科医会研修会			16:00 日医公衆衛生委員会 17:00 (長崎) 九医連常任委員会 19:00 (長崎) 九医連臨時委員総会 認知症サポート医・かかり つけ医スキルアップ研 修会 (Web会議)	
12	日					
13	月	19:00 広報委員会 19:00 医協会計監査	25	土	10:00 宮崎大学医学部附属病院 研修ローテート等説明会 (長崎) 九医連委員・九州各 県医師会役員合同協議会 (長崎) 九州医師会総会・ 医学会 15:00 県訪問看護ステーション連 絡協議会九州ブロック会議 19:00 (福岡) 福岡医協創立50 周年記念式典・祝賀会	社 保 審 査
14	火	18:30 第15回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師 会との意見交換会				
15	水	16:00 支基金審査運営協議会				
16	木	13:00 日医2023年度防災訓練 (災害時 情報通信訓練) (Web会議) 18:30 宮崎銀行との意見交換会				
17	金	15:00 日医医師会共同利用施設検討委 員会 (Web会議) 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修 会) (Web会議)	28	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会 18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第16回全理事協議会 (Web会議)	↓
			29	水	15:00 労災診療指導委員会	
			30	木		

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月4日(水) 19:00～21:00 県医師会館	今日の自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 10月4日(水) 19:00～20:20 ホテルパルフォー ト日向 ※受講は現地また はWeb	肺がん診断の病診連携(仮) 宮崎大学附属病院 呼吸器内科 助教 小田 康晴 COPDの診断治療 宮崎大学附属病院 呼吸器内科 病院講師 坪内 拡伸	10 (0.5) 46 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 アストラゼネカ(株)
令和5年度第3回 医療安全管理・感 染対策講演会 10月5日(木) 16:00～17:15 宮崎大学医学部附 属病院 臨床講義室 205	当院の感染対策UP-TO-DATE2023 宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 部長 高城 一郎 専門医共通講習-感染対策（必修）：1単位	8 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院医 療人育成課卒後臨床研修係 ☎0985-85-1864
令和5年度宮崎県 外科医会秋期講演 会（日本臨床外科 学会地方会） (Web講習会) 10月6日(金) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	宮崎県の外科医療の未来のために私たちにできること 鮫島病院 江藤 忠明	1 (1.0)	◇主催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 10月6日(金) 19:00～20:10 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	COPD治療のデバイス選択について(仮) 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 北村 彩	4 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アストラゼネカ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	COPDの診断と治療について(仮) 藤木内科外科クリニック 院長 藤木 玲	73 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月11日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第21回在宅医療実践のための多職種協働研修会 10月12日(木) 19:00～20:30 宮崎市郡医師会病院医師会館講堂	コロナ禍でADLが低下したが、家族・多職種間サービスを有効に利用でき回復した事例(仮) 古賀訪問看護ステーションあおぞら 看護師 池本 佳奈美	80 (1.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 10月13日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル延岡3階「山水」 ※受講は現地またはWeb	何歳になっても充実した日々を送ってもらうために～不整脈治療の早期介入の重要性～ 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 副部長 伊藤 美和	73 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	高血圧治療にエサキセレノンを活かす！ESES～LVH試験からの知見を含めて～ 熊本大学病院 循環器内科 講師 山本 英一郎	74 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第4回Case Conference of 県宮総診 (Web講習会) 10月14日(土) 14:00～17:00 まちなかキャンパス ※受講は現地またはWeb	症例検討 県立宮崎病院 総合診療科 医長 早川 学 他	25 (3.0)	◇主催 宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座/県立宮崎病院総合診療科(連絡先) 宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 ☎0985-85-9809
第35回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー (Web講習会) 10月14日(土) 15:25～19:00 宮崎観光ホテル東館2階「紅日向」 ※受講は現地またはWeb	セメント人工関節置換術の過去・現在・未来 近畿大学医学部 整形外科教室 主任教授 後藤 公志 ----- 脊椎疾患診療・研究におけるピットフォール 東北大学 医学系研究科 医科学専攻外科病態学講座 整形外科学分野 教授 相澤 俊峰	61 (1.0) ----- 60 (1.0)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736
第203回宮崎県眼科医会講習会 10月14日(土) 16:00～19:15 KITENビル8階 大会議室 参加費:3,000円	nAMD治療におけるmodified TAE法とパピースモの可能性 関西医科大学附属病院 眼科 准教授 永井 由巳 ----- Ang-2/VEGF-A同時阻害による糖尿病黄斑浮腫の新規治療戦略 北海道大学 医学研究院 眼科学教室 教授 石田 晋	36 (1.0) ----- 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 中外製薬(株)
宮崎県警察医会特別講演会 10月14日(土) 17:30～19:00 県医師会館	検案・解剖で診る薬毒物中毒 福岡大学医学部 法医学教室 教授 久保 真一	17 (1.5)	◇主催 ※宮崎県警察医会 ☎0985-22-6588

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和5年度宮崎県 小児科医会秋季学 術講演会 10月15日(日) 14:00～17:10 宮崎県医師会館 参加費:5,000円	これからの小児循環器診療 ～胎児から成人まで～ 宮崎県立宮崎病院 小児科 井福 俊允	12 (0.5)	◇主催 宮崎県小児科医会 (連絡先) 宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100
	新生児仮死に対する治療の変遷 ～蘇生, 急性期管理とその後～ 宮崎大学医学部 小児科 青木 良則	7 (0.5)	
	知っておきたい小児の難聴とめまい 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 教授 高橋 邦行	31 (1.0)	
	子どもの便秘は町医者の手で とみもと小児科クリニック (青森県) 理事長 富本 和彦	54 (1.0)	
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 10月16日(月) 19:00～20:00 南那珂医師会館2 階大ホール ※受講は現地また はWeb	これからのCOVID-19・インフルエンザ診療と予防 鹿児島大学 医歯学 総合研究科感染防御学講座 微生物学分野 教授 西 順一郎	8 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 塩野義製薬(株)
第178回宮崎心臓病 研究会 (Web講習会) 10月17日(火) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	高齢大動脈弁狭窄症患者の治療 ～心不全からTAVIそして緩和ケアまで～ 久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 主任教育 福本 義弘	45 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 (Web講習会) 10月18日(水) 19:00～20:30 アートホテル宮崎 スカイタワー ※受講は現地また はWeb	当院におけるデュピクセントの使用経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 助教 西川 陽太郎	26 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎080-6778-6526
	結節性痒疹とアトピー性皮膚炎に対する最新治療 長崎大学 医師薬学総合研究科 皮膚科学分野 教授 室田 浩之	73 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第1回令和5年度 宮崎県医師会生活 習慣病検診従事者 研修会（肺・乳・ 胃・大腸がん検診 研修会） （Web会議） 10月18日(水) 19：00～21：00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	肺がん検診 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院准教授 柳 重久	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳癌検診の実際～超音波を中心に～ まつ婦人科クリニック 院長 松 敬文	11 (0.5) (乳)	
	胃がん検診から胃がん治療まで 県立宮崎病院 外科部長 兼 患者支援センター部長 日高 秀樹	12 (0.5) (胃)	
	低侵襲の大腸ポリープ内視鏡治療 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 教育医長 鈴木 翔	82 (0.5) (大)	
宮崎市郡医師会し ののめ医学会特別 講演会（外来感染 対策向上加算要件 を満たす研修会） （Web講習会） 10月18日(水) 19：00～20：30 宮崎市郡医師会館 講堂 ※受講は現地また はWeb	新型コロナウイルス感染症の診療と治療について 宮崎大学医学部附属病院 感染症内科科長 感染制御部 部長 准教授 高城 一郎	8 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
	羽田空港のコロナ水際対策・宮崎空港検疫について 福岡検疫所宮崎空港出張所 検疫業務係長 貴嶋 哲郎 他	8 (0.5)	
第8回地域におけ るウイルス性肝炎 治療を考える会 （Web講習会） 10月19日(木) 19：00～20：40 ニューウェルシテ ィ宮崎1階「アン ジェラス」 ※受講は現地また はWeb	宮崎医療センター病院の目指す緩和ケア 宮崎医療センター病院 緩和ケアセンター センター長 宮崎大学医学部 医学臨床教授 高橋 稔之	81 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ギリアド・サイエンシズ(株) ☎090-2932-2794
	MAFLD/MASLDから考える脂肪肝とウイルス性肝炎 久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門 主任教授 川口 巧	27 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和5年度第11回 宮崎県輸血懇話会 (Web講習会) 10月21日(土) 13:30～16:30 宮崎市民プラザギ ャラリー2 ※受講は現地また はWeb	さあ、困った！こんな時どうする？ (副作用対応PC編)(仮) 宮崎大学医学部附属病院 看護部 副看護師長 市来 直也 他	7 (0.5)	◇主催 ※宮崎県赤十字血液センター ☎0985-50-3100 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県看護協会 宮崎県臨床検査技師会 日本・輸血細胞治療学会九州支部
	輸血用血液製剤の安全性向上について 日本赤十字社 血液事業本部 安全管理課長 日野 郁生	7 (0.5)	
	輸血医療の現状と課題 ～小規模医療施設及び在宅での輸血療法について～ 東京都赤十字血液センター 所長 牧野 茂義	14 (1.0)	
第69回宮崎県スポ ーツ学会 10月21日(土) 15:00～18:30 宮崎大学医学部臨 床講義室205	腰痛に対する理学療法 桐蔭横浜大学 スポーツ科学研究科 教授 成田 崇矢	60 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	スポーツビジョン研究の現状と未来への展望 順天堂大学医学部 眼科学講座 助教 工藤 大介	36 (1.0)	
	スポーツにおける半月板損傷の治療～現状と展望～ 大阪行岡医療大学 医療学部 理学療法学科 教授 前 達雄	61 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 10月24日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーション力 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県内科医会学術講演会 (Web講習会) 10月26日(木) 19:00～20:00 MRT micc 3階「エメラルドホール」 ※受講は現地またはWeb	社会に衝撃を与えた肥満治療の進歩 宮崎大学医学部 生体制御医学研究講座 大阪大学 蛋白質研究所 特任教授 西日本肥満研究会 代表世話人 中里 雅光	23 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ノボルディスクファーマ(株) ☎0985-20-1891
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 10月27日(金) 19:00～20:00 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	心不全においてカリウム管理がもたらすインパクト～GDMT導入, そして継続のためのstrategy～ 日本赤十字社 福岡赤十字病院 循環器内科 副部長 松川 龍一	44 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アストラゼネカ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 (Web講習会) 10月27日(金) 19:00～20:10 KITTO小林 ※受講は現地またはWeb	これからのCOVID-19・インフルエンザ診療と予防 鹿児島大学 医歯学総合研究科 感染防御学講座 微生物学分野 教授 西 順一郎	8 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 塩野義製薬(株)
第179回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 11月6日(月) 19:00～20:20 宮崎観光ホテル ※受講は現地またはWeb	心血管イベント抑制にむけた総合的脂質管理の重要性 熊本大学 生命科学研究部 循環器内科学 教授 辻田 賢一 他	75 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 興和(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月8日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
医療現場のワーク ライフバランスセ ミナー (Web講習会) 11月10日(金) 18:40～20:20 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	すべての人にワークライフバランス 日本医師会 常任理事 神村 裕子	1 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 地域医療現場における働 きやすい環境を考える会
令和5年度第1回 宮崎県かかりつけ 医等発達障害対応 力向上研修会 (Web講習会) 11月12日(日) 9:00～12:00 県医師会館 ※受講はWebのみ	発達障害診療に必要な知識 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こずえ	72 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	発達障害診療の実際の流れ 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こずえ	72 (1.0)	
	県内の診療体制と紹介システムの案内 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こずえ	12 (1.0)	
「皮膚の日」講演会 (Web講習会) 11月12日(日) 14:00～15:30 宮日会館11階ホール ※受講は現地また はWeb	炭水化物 $C_n(H_2O)_n$ {糖の話} ～甘い糖, 甘くない糖(糖鎖)～ 青木皮膚科 出盛 允啓	9 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・日本臨 床皮膚科医会宮崎県支部 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK 日本医師会 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月17日(金) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	76 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第2回令和5年度 宮崎県医師会生活 習慣病検診従事者 研修会（肺・乳・ 胃・大腸がん検診 研修会） （Web講習会・TV 会議） 11月17日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館ま たはZoomウェビ ナー及びTV会議 6会場 （都城，延岡，日 向，児湯，西都， 南那珂）	肺がん検診 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院准教授 柳 重久	7 (0.5) ⑦	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳癌検診の実際～超音波を中心に～ まつ婦人科クリニック 院長 松 敬文	11 (0.5) ⑧	
	胃がん検診から胃がん治療まで 県立宮崎病院 外科部長 兼 患者支援センター部長 日高 秀樹	12 (0.5) ⑨	
	低侵襲の大腸ポリープ内視鏡治療 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 教育医長 鈴木 翔	82 (0.5) ⑩	
宮崎県医師会産業 医研修会 11月21日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和5年度依存症 対策地域支援事業 支援者向け研修会 「ギャンブル障害 の治療の実際～多 様化するギャンブ ル問題(ネット・ス マホ・ゲーム)～」 (Web講習会) 12月2日(土) 10:00～16:00 藤元メディカルシ ステム附属医療専 門学校 ※受講は現地また はWeb	ギャンブル障害の治療と実際 大悟病院 大塚 響	70 (1.5)	◇主催 宮崎県 ◇共催 宮崎県依存症治療拠点機関・ 依存症専門医療機関大悟病院 ◇後援 宮崎県公認心理師・臨床心理士会 (連絡先) 大悟病院 ☎0986-52-5800
	九州財務局の取り組み 九州財務局 宮崎財務事務局	11 (2.0)	
第3回令和5年度 宮崎県医師会生活 習慣病検診従事者 研修会(肺・乳・ 胃・大腸がん検診 研修会) (Web講習会) 12月2日(土) 15:00～17:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	肺がん検診 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院准教授 柳 重久	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳癌検診の実際～超音波を中心に～ まつ婦人科クリニック 院長 松 敬文	11 (0.5) (乳)	
	胃がん検診から胃がん治療まで 県立宮崎病院 外科部長 兼 患者支援センター部長 日高 秀樹	12 (0.5) (胃)	
	低侵襲の大腸ポリープ内視鏡治療 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 教育医長 鈴木 翔	82 (0.5) (大)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第204回宮崎県眼科医会講習会 12月16日(土) 16:00～19:05 KITENビル8階 大会議室 参加費:3,000円	激変?ドライアイ治療最前線 慶應義塾大学医学部 眼科学教室 特任講師 内野 美樹	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	原発閉塞隅角病の治療戦略update ～ガイドライン改訂を受けて～ 神戸アイセンター病院 院長 栗本 康夫	36 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 12月19日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	健康経営を導くワークライフバランス 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会:2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的: 県医師会から会員への情報提供（各種通知文書, 研修会の案内など）

対象: 会員本人, 医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的: 会員同士の意見交換, 会員からの情報提供

対象: 会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し, 事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合, 情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先: 宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

診療メモ



側弯症診療（運動器検診で何を診る？）

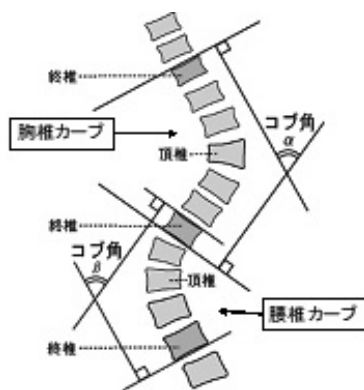
宮崎大学 整形外科（脊椎・側弯症外来） ^{なが い たく や}
永 井 琢 哉

はじめに

2016年度より運動器検診の中に側弯症検診が含まれるようになりました。学校医の先生方には忙しい診療の中、運動器検診を行っていただき大変感謝しております。側弯症は医学の父であるヒポクラテスの著書でも記載があるように古くから存在しますが、まだ病因もはっきりせず、謎が多い疾患です。学童期から思春期にかけて発症することが多いですが、疼痛などの症状に乏しく、悪化すると改善は困難なため、早期発見・早期治療がキーとなります。今回は診察のポイントから治療について述べさせていただきます。

1. 分類と疫学

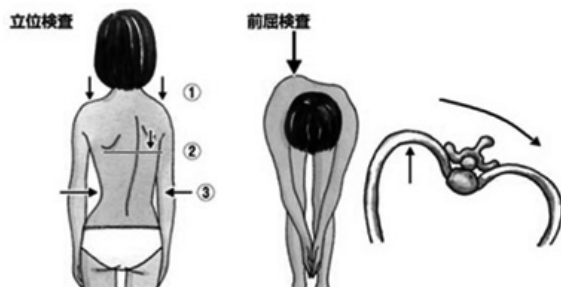
脊柱を正面から見た場合に左右に曲がっている状態を側弯症と言いますが、実際には左右のみではなく、椎体の回旋（ねじれ）を伴います。80～85%は原因の特定できないいわゆる特発性側弯症（思春期の女兒に多い）ですが、原因である病気がわかっているものもあります。例えば、半分の背骨（半椎）などを伴う先天性側弯症、脊髄空洞症や脳性麻痺など神経筋疾患に伴う側弯症、レックリングハウゼン病やマルフ



アン症候群にも側弯症を伴うことが多いです。上下で最も傾いている椎体のなす角度をコブ角と言いますが、10°以上の側弯症は2～3%にものぼると言われています。治療の必要性のある20°以上では0.3～0.5%と頻度は下がります。

2. 診 察

通常外来では背部をしっかりと診察するために洋服を脱ぎ後開きの検査着に着替えていただい



（日本側弯学会編集 知っておきたい脊柱側弯症から引用）

ています。学校検診では困難だと思いますが、疑わしい場合は洋服のふくらみを減らして診察していただけるといいと思います。

まずは立位で背面から観察し、①肩の高さ、②肩甲骨の高さ、③ウエストラインの左右差を見ます。次に両手を合わせて前屈をさせ、肋骨や腰にもりあがりがあり、左右差があるかを見ます。このもりあがりhumpと呼ばれ、脊椎がねじれていることに起因します。肋骨は右、腰は左がもりあがることが多いです。もしこのような所見がありましたら、整形外科での2次検診を勧めてください。整形外科では立位の全脊椎X線の正面像と側面像を撮影し、側弯症を診断します。臥位X線では重力の影響が除かれ、側弯が軽く評価されることにより、治療の機会を逸してしまうことがありますので注意が必要です。腰椎カーブなどでは診察のみでは判断が難しい場合があります、問診票で親が側弯症の項目にcheckをしているときには、明らかに大丈夫と思われる場合を除いては2次検診を勧めてもいいと考えています。実際に私の外来でも問診票にcheckをしていましたが、2次検診を勧められなかったのが、ご自宅で経過を見ていたら数年後に側弯が悪化し手術が必要になった患者様もいました。

3. 治療

治療はコブ角と骨成熟度によって分けられます。女兒の場合は初潮前後がgrowth spurtになり、この時期に側弯症が急速に悪化しやすいです。逆に初潮から3～4年たち骨成熟が進むと側弯症の進行も落ちつくことが多いです。

コブ角が軽いうちは4～6か月ごとに経過観察していきます。20～25°以上であれば装具療法を開始します。カーブタイプは患者さんによって異なりますので、オーダーメイドで作製します。装具装着時間が長いほど効果があることが証明されていますが、最近の酷暑の影響もあり、日中の装着が困難なことも多々あります。骨成熟が進行したら徐々に装着時間を減らし、装具治療を終了します。

胸椎カーブでは45～50°以上、腰椎カーブでは35～40°以上になれば、成長期が過ぎたあとも側弯症が徐々に進行することが報告されており、矯正手術の適応と考えて、本人や保護者と相談し手術を行っております。側弯症に特化した運動療法の報告もありますが、まだ客観的なデータに乏しく、今後のエビデンスの高い研究が望まれます。

おわりに

側弯症は思春期には特に症状もなく、静かに進行していきます。保護者も気付いていないことが多く、運動器検診での発見が治療介入のキーになります。側弯症を疑うようなhumpがありましたら、問診票のコメント欄に2次検診の強く勧めるように記載いただくととても助かります。また、側弯症で診断や治療に悩まれるようなことがございましたら、ご紹介いただけると幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

診療メモ



自験例からみた「自殺」についての小考察

宮崎市 中山医院 中 山 けん 健

本年7月5日付の新聞に「22年本県の自殺率ワースト3位」の見出しの記事が載りました。それは厚生労働省の人口動態統計を基にした県のまとめで分かったもので、2022年の本県の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）が20.4人で秋田県、岩手県に次いで多く全国ワースト3位を占め前年度のワースト5位を更新したとの内容でした。ちなみに4位は鹿児島県で、北の2県と南の2県が上位に名を連ねている理由は判然としません。筆者も縁あって平成2年ごろから宮崎市の高岡町を除く大淀川以北地域での死体検案に従事しており、この記事を見て昨年の「自殺」の自験例をまとめてみましたのでその結果を述べます。

法医解剖になった事案を除くと自験例の検案者総数は155名で自殺者総数は25名（16%）でした。その内訳は性別では男性が18名（72%）と多く、年代別では10～90代まで広く分布していましたが40～50代で男性が多く女性は少ない傾向がみられました。原因・動機については遺書もなく独居が多くて不明の場合がほとんどでしたが、やはり心や体の健康問題が多く異性・家庭問題や経済・生活問題などがこれに続きました。季節は春と秋に多いとする報告もありますが、自験例ではそのような傾向は見られませんでした。自殺の手段としては縊死による

ものが72%と最多で次いで溺死12%、一酸化炭素中毒と高所からの転落・落下が各々8%でした。この手段について少々注釈を加えますが、縊死による縊死は定型的と非定型的に大別され前者は令和4年度日医「死体検案研修会（上級）」の資料によると「開放係蹄もしくは結節が後頸部正中線上にある結節係蹄で、かつ足が壁・地面・床から離れて宙に浮いて懸垂している吊り方」としてあり、この場合は同時に全部の血管（総頸動脈→内頸動脈、内頸静脈、椎骨動脈）が閉塞するので顔面にうっ血は生じないとされています。自験例では少数でした。溺死は液体（溺水）を気道内に吸引することによって生じる窒息ですのでいわゆる生前溺死の診断も含めてAi（Autopsy imaging：死亡時画像診断）が有用です。一酸化炭素中毒については血中CO-Hb濃度の致死濃度はほぼ60%以上とされていますが、50%以上あれば現場の状況とあわせて決め手になると思われます。周知のごとく死斑は青酸中毒や凍死あるいは死後寒冷状態に置かれた場合と同様に鮮紅色を呈します。自験例はすべて車中での練炭使用によるものでしたが、過去には排気ガスの車内引き込み例も多く経験しました。転落・落下は外因性を否定するためにも司法によるより綿密な調査が必要となります。これら以外の手段として一昨年は列

車飛び込み例がありましたし、本年はヘリウムガス吸入による自殺完遂例を初めて経験しました。浮遊風船用のこのガスには酸素が添加されておらず酸素欠乏にいたるわけで、その方法はネットで検索でき注意を要します。

最後に自殺防止対策についてです。国は9月10日～16日を自殺予防週間に定め日医も協力して取組みを強化中です。また、本県には有識者による県自殺対策推進協議会が設置され県医もこれに参画し自殺対策基本法に基づいた県自殺対策行動計画が策定されています。具体的には県はこれまで宮崎市内でのみ開催していたワンストップ相談室を本年度からオンラインで実施しバス広告など新たな啓発活動を行うとのことです。市町村レベルでも相談支援体制の充実を図っておりますので県が呼びかけているごとく自殺企図のある人の家族・友人や職場の同僚らが一丸となって早期に異変に気付き声をかけてこれらの窓口につなぎたいものです。当然主治医、かかりつけ医や産業医以外でも私たち医療従事者は職種を問わずこの行動の先頭に立つべきでしょう。なお、自殺企図のある人などに対するメンタル・ファーストエイドは厚労省のゲートキーパー養成研修テキスト（第3版）によれば下記の基本ステップで構成されるとしています。（5ステップ：り・は・あ・さ・る）。

- 1) 自傷・他傷のリスクをチェックする
（り：リスク評価）
- 2) 判断・批判せずに話を聞く
（は：はんだん、批評せずに話を聞く）
- 3) 安心と情報を与える
（あ：あんしん、情報を与える）
- 4) 適切な専門家のもとへ行くよう伝える
（さ：サポートを得るように勧める）
- 5) 自分で対応できる対処法（セルフ・ヘルプ）を勧める

（る：セルフヘルプ）

参考までに公表されている主な電話相談先を付記します。

[電話相談先]

○こころの電話（宮崎県精神保健福祉センター）

TEL 0985-32-5566

祝日・年末年始を除く平日の9時～19時

○#いのちSOS（NPO自殺対策支援センター
ライフリンク）

TEL 0120-061-338

日～火曜、金曜0時～24時（24時間）、

水～木曜、土曜6時～24時（土曜6時～火曜24時、木曜6時～金曜24時は連続対応）

○NPO法人 宮崎いのちの電話

TEL 0570-783-556

毎日（365日）、月、水、金曜21時～4時（翌朝）、火、木、土～日曜18時～4時（翌朝）

○宮崎自殺防止センター（NPO法人国際ビ
フレンダーズ）

TEL 0985-77-9090

月、水、金、日曜20時～23時

[未成年・子ども電話相談先]

○チャイルドラインみやざき

TEL 0120-99-7777

12/29～1/3を除く毎日16時～21時

○24時間子どもSOSダイヤル

TEL 0120-0-78310

24時間、毎日(365日)

○わかば 子ども相談ダイヤル（子ども・若
者総合相談センター）

TEL 0120-730-130

月～水曜、金～土曜10時～17時

（祝日と12/29～1/3を除く）

稿を終えるにあたり、不眠不休で相談業務やご遺体の収容・調査にあたっておられる方々に深甚なる敬意を表します。

宮大医学部学生のページ



実習前のCBT・OSCE試験について

宮崎大学医学部 医学科5年 ^{いっ}一 ^{しき}色 ^{いずみ}泉

はじめまして。宮崎大学医学部5年生の一色と申します。

今回、「CBTとOSCEについて」というお題をいただいて記事を執筆させていただきます。

全国の医学部では大学病院での臨床実習に際して、医学生がスチューデントドクターに相応しい知識と技能を身につけているか評価するために、4年次に共用試験実施評価機構の管轄のもとで2種類の共用試験を行っています。このうち、「知識」を評価する試験がComputer Based Testing (CBT) で、「技能」を評価するものがObjective Structured Clinical Examination (OSCE) です。

CBTはその名のとおり、コンピュータ上で問題の閲覧・回答を行い、基礎医学や公衆衛生、臨床医学の知識の程度を評価する試験となっています。1日で6ブロック、計320問と非常に問題数の多い試験となっています。

その最大の特色は「ひとりひとり解いている問題が異なる」ということです。コンピュータ上で問題の管理を行っているがゆえに可能なシステムです。CBTで出される320問のうち、240問は「プール問題」と呼ばれる過去問です。

そして採点されるのはこの240問だけです。残りの80問はその年に機構によって作成された新作問題であり、受験生の正答率が極端に悪い「悪問・奇問」を除いて次年度以降のプール問題に加わることになります。膨大な数のプール問題（令和元年度の時点でおおよそ27,000題）から受験生によって異なる240問が選択されることになります。

試験の評価方法もまた、国家試験とは異なる独特なものとなっています。前述のように受験生によって解いている問題が異なるので、単に正答率だけでは厳密な評価を行うことができません。そこでCBTではIRTスコアというものが主な指標とされています。これは2012年度から2014年度の受験生を基準集団として、その基準集団における平均スコアを500、標準偏差が100であると仮定し、各受験生の解いた問題の難易度を鑑みたくえで算出されるスコアです。

CBTで問われるのは単に生命現象や疾患に対する教科書的な知識だけではありません。与えられた臨床情報を基に、問診すべき項目や必要な身体診察・検査、鑑別疾患とその病態生理を推論する能力も問われます。これは近年の医師

国家試験でも見られる傾向です。

このように、かつてない膨大な範囲の知識量に加えてその知識を応用する能力も問われるCBTに取り組むためには、やはり相当な時間を費やして準備することが必要です。過去問は一般に公開されないのが、医学生は予備校が出版している模擬問題集と大学での講義を頼りに勉強を進めていくことになります。わたしもそれらを頼りに、臨床医学の講義が始まる3年生の冬からコツコツ準備を重ねてきました。その結果、本番ではIRTスコア721（得点率はおおよそ93%）を出すことができました。

CBTと対照的にOSCEは臨床実習に必要な身体診察や簡単な医療行為を行う能力、そして医療者に求められる態度を評価される「実技試験」となっています。「医療面接」「全身状態とバイタルサイン」「頭頸部診察」「胸部診察」「腹部診察」「神経診察」「一般臨床手技（静脈採血や心電図測定など）」「救急」「四肢と脊柱」「感染対策」といった領域ごとに課題が課され、制限時間内に課題をこなすという形式の試験です。宮崎大学では「四肢と脊柱」「感染対策」を除いた8項目が出題されています。

静脈採血や救急での心臓マッサージなど侵襲性が高いものはシミュレータを用いて課題が課されますが、それ以外の課題ではわたしたち医学生はあらかじめ募集された模擬患者、つまり生身の人間に対して問診をとり、そして身体診察を行うことになります。

これまでの座学の間とは打って変わり、模擬的なものとはいえ人を相手に実際に診察を行うこの試験は今まで受けたどの試験よりも緊張感に溢れたものでした。試験本番だけでなく、OSCE対策として大学で行われた実習で同級生相手に練習で診察を行うときも最初は不安や緊張でいっぱいでした。このような緊張感の中で、医学部に入って初めて「近い将来、自分はこのような手技を仕事として当たり前にはできなきゃいけない立場になるんだ」という「医療者の自覚」が心の中に芽生えてきました。

学校の実習だけではやはり練習量としては心許ないので、試験直前には多くの医学生が友人と互いに診察を行って自主的に練習を行っています。わたしも試験前日には友人と一日中、練習と手技のやり方の確認を行っていました。医学部に入ってさまざまな場面で助け合いが必要となってきましたが、OSCE直前では特にその必要性が実感されました。

「解剖実習でのご献体は君たちにとってのファースト・ペイシエントである」と解剖学の澤口教授が仰っていましたが、それになぞらえるとOSCEで直面する模擬患者はわたしにとってのセカンド・ペイシエントです。そのような人々と向き合うことで、医療者としての自覚、そして臨床実習に臨む覚悟ができたと思います。この覚悟を忘れることなく、残された1年半で更なる研鑽を重ねる所存です。

~~~~~  
あなたできますか？（解答）

|   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|------|---|---|---|---|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5    | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| a | c | c | d | b, d | d | d | b | c | c  |

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

| 送付日  | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月1日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・令和5年度健康長寿推進企業等知事表彰の募集及び周知について（依頼）</li><li>・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「チキサゲビマブ及びシルガビマブ」の医療機関への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）</li><li>・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて</li><li>・リツキサン点滴静注100mg、同点滴静注500mg、及びエンハーツ点滴静注用100mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について</li><li>・医師会における自治体等の健診等委託事業に係る消費税インボイス制度の適用関係について</li></ul>                                                                                                          |
| 9月5日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・第54回全国学校保健・学校医大会の開催形式並びに事前参加登録期間の延長について</li><li>・防災推進国民大会2023の開催について及び日本医師会関東大震災100年特設サイトの公開について</li><li>・介護医療院の開設状況（令和5年6月30日時点）について（情報提供）</li><li>・「指定成分等含有食品に関する留意事項について」の一部改正について</li><li>・令和5年度における年金生活者支援給付金の支給に関する対応について</li><li>・令和5年度医療機関における外国人患者受入れに係る実態調査実施について（協力依頼）</li><li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その56）」の送付について</li><li>・DPC制度への参加又はDPC制度からの退出に係る届出について</li><li>・令和5年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について</li></ul> |
| 9月8日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠125mg）の使用にあたっての注意喚起に係る追加の情報提供（資材の活用の徹底及び相談窓口について）</li><li>・愛の予防接種助成事業補助金交付要綱（風しんワクチン及びMRワクチン）の制定について（通知）</li><li>・保育所、認定こども園等におけるRSウイルス感染症等への対応について</li><li>・令和5年度全国学校保健・安全研究大会の開催について（依頼）</li><li>・オンライン診療その他の遠隔医療に関する事例集（令和5年8月版）について</li><li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li><li>・「使用上の注意」の改訂について</li><li>・有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業（医療施設等施設整備費補助金）の追加募集について</li><li>・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について</li></ul>                   |

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月12日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・令和5年度院内感染対策講習会について（依頼）</li><li>・宮崎県における外来対応医療機関の指定について（通知）</li><li>・「「感染症法の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律による改正後の医療法に基づく協定等について」の一部改正について」等の発出について（災害支援ナースについて）</li><li>・感染対策向上加算の施設基準において求める研修に該当する令和5年度院内感染対策講習会の周知について</li><li>・令和3年度介護保険事業状況報告（年報）の公表について（情報提供）</li><li>・情報通信機器を活用した介護サービス事業所・施設等における管理者の業務の実施に関する留意事項について</li><li>・厚生労働省共済組合員証の無効について</li><li>・共済組合員証の無効通知について</li><li>・令和5年台風第13号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その1）～（その3）</li><li>・令和5年台風第13号に伴う災害に係る介護報酬等の取扱いについて</li><li>・令和5年台風第13号に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について</li><li>・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付）</li><li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li><li>・「ひなたの出会い・子育て応援運動推進大会」の周知について（依頼）</li><li>・令和5年度結核予防週間の実施について</li></ul>                                                                                     |
| 9月15日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・感染対策向上加算の施設基準において求める研修に該当する令和5年度院内感染対策講習会の周知について</li><li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッド®パック）の取扱いについて</li><li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令の一部を改正する政令等の公布及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について</li><li>・「小児慢性特定疾病指定医の指定について」及び「小児慢性特定疾病医療支援の給付に係る公費負担者番号及び受給者番号の設定について」の一部改正について</li><li>・「指定難病に係る臨床調査個人票」及び「小児慢性特定疾病に係る医療意見書」の一部改正について</li><li>・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付）</li><li>・日本医師会「地域に根ざした医師会活動プロジェクト」第1回シンポジウムの開催について</li><li>・「こども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第19次報告）」の公表について</li><li>・令和5年度「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業」に基づく啓発活動への協力について</li><li>・独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について（協力依頼）</li><li>・第35回（令和5年度）健康スポーツ医学講習会の開催について</li><li>・令和5年台風第13号に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について</li><li>・令和5年台風第13号に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li></ul> |

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月22日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年秋以降の新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う往診に係る診療報酬上の臨時的な取扱いの廃止について（再周知）</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について（通知）</li> <li>・今後の新型コロナワクチン接種について（その8）</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（15版）</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（19版）</li> <li>・「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver. 10」について</li> <li>・ファイザー社ワクチン、モデルナ社ワクチン及び武田社ワクチン（ノババックス）の有効期限の取扱いについて</li> <li>・ファイザー社ワクチン（1価：起源株・2価：起源株／オミクロン株）及びモデルナ社ワクチン（2価：起源株／オミクロン株）の廃棄について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の取扱いについて（承認条件の取扱いの変更に伴う修正）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における抗ウイルス薬のレムデシビル製剤（ベクルリー）の所有権の移転及び国購入品の取り扱いについて</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置に係る助成金等の終了及び今後の母性健康管理措置の周知への御協力について（依頼）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制の状況把握のための医療機関等情報支援システム（G-MIS）への入力等について（協力依頼）（その2）</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令の一部を改正する政令等の公布について（通知）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の令和5年10月以降の医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について</li> <li>・令和5年10月以降の新型コロナウイルス感染症に関する高齢者施設等への支援及び「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて」の送付について</li> <li>・マイナンバーカード活用等に向けた積極的な周知の御協力をお願いについて（依頼）</li> <li>・「マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことができない場合における対応等に対する疑義解釈について」の一部改正について</li> <li>・日本医師会サイバーセキュリティ対応相談窓口（緊急相談窓口）ステッカー送付のお知らせ</li> <li>・宮崎県市町村国保適正服薬促進支援事業への御協力について（依頼）</li> <li>・日本医師会「外国人患者向け医療ポータルサイト」の開設について</li> <li>・経口抗菌薬の在庫逼迫に伴う協力依頼について</li> <li>・信用保証協会によるセーフティネット保証5号の指定期間延長について（情報提供）</li> <li>・検査料の点数の取扱いについて</li> </ul> |

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月22日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について</li><li>・里帰り出産をする妊産婦への支援について</li><li>・令和5年度こども家庭庁こども・子育て支援調査研究事業「産後ケア事業の体制整備に関する調査研究事業」について（協力依頼）</li><li>・医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について</li><li>・医療事故の再発防止に向けた提言第18号の公表について</li><li>・令和5年度宮崎県高次脳機能障がい実態把握調査について（依頼）</li></ul> |
| 9月26日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・季節性インフルエンザワクチンの供給について</li><li>・医療安全推進週間（11月19日～11月25日）について</li><li>・後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて</li><li>・令和5年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について（通知）</li><li>・地域医療構想調整会議における検討状況等の確認について</li><li>・「高齢者の医薬品適正使用推進事業に係る実態調査」へのご協力のお願い</li></ul>                              |

## お知らせ

# 令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れております。

日本医師会認定「医療秘書」の資格を取得していると、医師事務作業補助者になるための「**32時間以上の基礎知識習得研修が免除**」されるという大きなメリットがあります。

つきましては、本学院では皆様のお役に立てる質の高い医療秘書の養成に向けてより一層努力してまいり所存ですので、会員諸先生方におかれましては、今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、なにとぞ、**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

【就職希望者】 10名（男0名、女10名）

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

# 医師年金

＜認可特定保険業者＞公益社団法人 日本医師会

## ご加入のおすすめ

**加入資格** 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

### ☑ 年金検討チェックリスト

- ☐ 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- ☐ コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- ☐ 一生涯受け取れる年金が望ましい
- ☐ 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- ☐ 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- ☐ 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

**医師年金ご加入をおすすめします！**

医師年金ホームページで、  
簡単シミュレーション！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。  
ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人

日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時（平日）

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

### 保険料からプラン作成

|                        |                |
|------------------------|----------------|
| ● 基本：月払                | 加入：月払          |
| 加算年金 (10 歳)            | 月払保険料 60,000 円 |
| 基本年金                   | 月払保険料 12,000 円 |
| 支払期間 19 年 2 ヶ月 (230 歳) |                |
| 合計月払保険料                | 72,000 円       |

設定条件をご確認ください。

|          |                  |
|----------|------------------|
| 試算日      | 令和 2 年 9 月 10 日  |
| 生年月日     | 昭和 50 年 1 月 1 日  |
| 試算日年齢    | 45 歳             |
| 加入申込期限   | 令和 2 年 10 月 15 日 |
| 加入予定年月   | 令和 2 年 11 月      |
| 加入時年齢    | 45 歳 10 ヶ月       |
| 加算払込開始年月 | 令和 2 年 11 月      |
| 年金受取開始年月 | 令和 22 年 1 月      |
| 年金受取開始年齢 | 65 歳             |
| 払込保険料累計  | 16,560,000 円     |

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期限は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生涯受け取ることができます。
- ・「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- ・「受取コース」の選択(81～84)は、受取開始の時に決まらなければなりません。
- ・受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- ・「受取年金月額」は概算です。現在は年率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

|         |                  |
|---------|------------------|
| ● 81コース |                  |
| 加算年金    | 保証期間15年 64,600 円 |
| 基本年金    | 保証期間15年 12,900 円 |
| 合計      |                  |
| 受取月額    | 77,500 円         |
| 15年受取総額 | 13,950,000 円     |

|         |                  |
|---------|------------------|
| ● 82コース |                  |
| 加算年金    | 5年確定型 276,500 円  |
| 基本年金    | 保証期間15年 12,900 円 |
| 合計      |                  |
| 受取月額    | 289,400 円        |
| 15年受取総額 | 18,912,000 円     |

|         |                  |
|---------|------------------|
| ● 83コース |                  |
| 加算年金    | 10年確定型 143,400 円 |
| 基本年金    | 保証期間15年 12,900 円 |
| 合計      |                  |
| 受取月額    | 156,300 円        |
| 15年受取総額 | 19,530,000 円     |

|         |                  |
|---------|------------------|
| ● 84コース |                  |
| 加算年金    | 15年確定型 99,100 円  |
| 基本年金    | 保証期間15年 12,900 円 |
| 合計      |                  |
| 受取月額    | 112,000 円        |
| 15年受取総額 | 20,160,000 円     |

## 日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

### ■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

### ■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

### ■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

### ～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

### ■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

## あとかき



されており、家族でハマって観ています。前回放送時も毎日楽しみに観ていたはずなのですが、記憶力の悪さも相まって先の展開が気になりながら、毎日が新鮮な気持ちです。主人公のあまちゃんが、海女さんになったりアイドルになったり紆余曲折を経て成長する様を、脚本家の宮藤官九郎さん（宮城県出身）が面白おかしく描いたストーリーです。東日本大震災の2年後に放送されており、ドラマの中でも震災が起ころ、復興に携わる姿が描かれていました。先日ドラマの中で、「携帯電話の電気代も電話代ももったいないべ」という会話がありました。当時の計画停電や節電の意識を、いつの間にかすっかり忘れてしまっていることを思い起こす1シーンでした。8月末より、福島第一原発からの処理水の放出がようやく開始されるなど、まだまだ震災の影響は続いていることを実感します。最近もモロッコで地震の被害があり、日本でも変わらず地震が頻発しています。「天災は忘れたころにやってくる」、少しずつかつての危機意識が薄らいできているなか、自然災害への備えを今一度確認したいと思います。（長井）

\* \* \*

9月15日から敬老の日を絡めて5連休として、両親と親戚を連れて娘の進学先である兵庫・大阪へ行って参りました。天気もよく（むしろ暑すぎた）、予定の行程をつつがなく消化できて大変満足な旅行となりました。職員の有休消化を兼ねた初めての試みでしたが、来年はどうしましょう？問題は休みが長くなればなるほど予約調整や休診の告知、連休前後の混雑が大変になることでしょうか。（菊池）

\* \* \*

最近YouTubeで広島県安芸高田市長に関する動画をよく視聴する。石丸市長は、大手銀行の初代ニューヨーク駐在アナリストとして海外でご活躍されている中、わずか37歳で立候補され当選された異色の政治家である。議会との対立姿勢を崩さない議会中のYouTube動画の視聴回数が100万回近くになり一躍「時の人」となった。市長の姿勢に対して、さまざまな評価はあると思われるが、自分と同世代でありながら粉骨碎身されている石丸さんの姿に大きな期待を寄せている。皆様も一度ご視聴いただけたらと思います。（植田）

\* \* \*

実家のベランダの鳩対策に悪戦苦闘しています。ネットで調べたりホームセンターを回ったりして鳩避け作戦を練っていますが、油断すると手すりにフンを見つけないことがあり、虚しくなることもしばしばです。エサもない何もないところなのになぜやってくるのか不思議です。鳩のほうも歓迎されていない空気を読んでほしいなあといついつい無理な願望をいだいてしまいます。（横山）

「じゃじゃじゃ」なんとも懐かしい響きです。2013年の流行語大賞で、NHKの朝ドラ「あまちゃん」で使われていた印象深い言葉です。ちなみに調べてみると、この年のその他の大賞には「倍返し」「今でしょ」「お・も・て・な・し」が選ばれていました。もう10年も前の話です。最近、その「あまちゃん」が再放送

先日、所属している部活のOB会が4年ぶりに開催されました。OB会を経験したことがないにもかかわらず段取りをしてくれた後輩たちや、お忙しい中OB会に参加してくださった先生方には大変感謝しています。1年生のときはOB会がなぜ開催されるのかあまり理解できていませんでした。ですが、5年生になった今、医療現場で将来ともに働くことになる部活の先輩方や後輩との縦のつながりを大切にという思いから、OB会は今まで伝統として残っているのだろうと感じています。（山本）

\* \* \*

先日、今月号の学生のページでも紹介されているPre-CC OSCEが終わり、現在はCBTに向けて勉強に励んでいます。この2つの試験を合格すると、11月からいよいよ臨床現場に参加してのクリクラが始まります。少し気は早いですが残り2年と少しく、自分が医師として臨床現場で働くようになることを考えると、今のままではいけない、もっと勉強しなければならないと身が引き締まる思いです。まずは、クリクラでさまざまなことを吸収するためにも、CBT対策を行いながら、知識を深めていこうと思います。（境）

\* \* \*

認知症の治療薬をはじめとして、高額な薬剤が次々と承認されていきます。

厚生省はエビデンスがあれば承認するという方針のようです。財政的に心配ですが、エビデンスがあるのに承認しなければ、患者サイドからの訴訟のリスクもあるからなのでしょう。（佐々木）

## 今月のトピックス

### 日州医談 「日本プライマリ・ケア連合学会」について

「日本プライマリ・ケア連合学会」について宮崎県医師会理事の玉置昇先生に解説いただきました。プライマリケア医、総合診療医、家庭医、かかりつけ医など類似あるいは重複する用語が複数あり、その資格に関しても認定制、免許制なのか、分かりません。我々医療者側にも国民にもわかりやすいものになるといいと思います。

4 ページ

### 随 筆 アボカドの芽

ハートセンターについて渡邊望先生に熱く語っていただきました。宮崎の循環器のレベルは質、量とも非常に高く、我々一般開業医には、宮崎医大や医師会病院、県立宮崎病院をはじめ、非常に頼りになる存在です。アボガド、いいですね～。やってみます。

6 ページ

### 身近なお困りごと相談室 第25回 治療行為に関する患者以外の同意について

認知症のある方、特に近い身内がない方に、医療行為の説明あるいは病名の告知をするのは難しくなります。特に悪性の病気が強く疑われ、更なる侵襲的検査を勧めるも同意されない時など、困ります。言葉を尽くして説明し、結果責任を負えない旨をカルテに記載したとしても、相手が理解できていなかったと言われれば説明義務違反に問われかねない気がします。念書や録音が必要な時代が来るかもしれません。

17ページ

### 診療メモ 自験例からみた「自殺」についての小考察

「自殺」について中山医院の中山健先生に考察していただきました。宮崎はワースト上位常連とのことです。高齢化や所得の低さなどが要因の一つと考えられていますが、精神疾患や病苦の方もおられます。勤務医時代にも、開業してからでも経験していますが、胸が痛みました。難しいことですが早期の気づきとfollowが重要だと思います。

66ページ

日 州 医 事 第890号 (令和5年10月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,  
長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 鍛冶川雄登, 山本 樹, 境 笙太郎, 金城 由歩

担当副会長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)